

0001

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

作業規程の準則における「路線測量」の説明として最も適切なものはどれか。

- ア．線状建造物の建設に関する調査、計画、実施設計等に用いられる測量である。
- イ．河川の水底地形だけを把握するための測量である。
- ウ．土地境界の権利確認だけを目的とする測量である。
- エ．既成地図の注記だけを更新する測量である。

答え・解説

正答：ア

ア：道路や水路等の線状建造物について、調査・計画・実施設計等に用いる測量が路線測量である。
イ：水底地形は深浅測量等の対象であり、路線測量の定義ではない。
ウ：土地・境界の調査と用地取得資料の作成は用地測量の中心的内容である。
エ：地図編集の説明であり路線測量ではない。
総合解説：道路や水路等の線状建造物について、調査・計画・実施設計等に用いる測量が路線測量である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0002

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

路線測量でいう「線状建造物」に該当するものとして最も適切なものはどれか。

- ア．建築物の柱や梁のような個々の部材である。
- イ．道路や水路のように、幅に比べて延長が長い構造物である。
- ウ．面積だけで管理される土地の画地である。
- エ．写真測量で用いる標定点群のことである。

答え・解説

正答：イ

ア：建築部材の分類ではない。
イ：準則では道路、水路等、幅に比べて延長の長い構造物を線状建造物としている。
ウ：画地は用地測量上の土地の区分に関する概念である。
エ：標定点とは異なる概念である。
総合解説：準則では道路、水路等、幅に比べて延長の長い構造物を線状建造物としている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0003

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

道路新設の路線測量について工程表を作成する。準則上、その細分に含めるべきでない作業はどれか。

- ア．線形決定
- イ．中心線測量
- ウ．境界確認
- エ．用地幅杭設置測量

答え・解説

正答：ウ

ア：線形決定は路線測量の細分である。

イ：中心線測量は路線測量の細分である。

ウ：境界確認は用地測量の細分であり、路線測量の細分ではない。

エ：用地幅杭設置測量は路線測量の細分である。

総合解説：境界確認は用地測量の細分であり、路線測量の細分ではない。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0004

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

「線形決定」の作業内容として最も適切なものはどれか。

- ア．現地の境界杭を確認して土地境界確認書を作成する。
- イ．河川の水深と船位を測って横断面図を作成する。
- ウ．中心杭の標高だけを求めて縦断面図を作成する。
- エ．路線選定結果に基づき地形図上でIPの位置を座標として定め、線形図データファイルを作成する。

答え・解説

正答：エ

ア：用地測量の境界確認に関する内容である。

イ：深浅測量の内容である。

ウ：縦断測量の説明に近く、線形決定ではない。

エ：線形決定では交点IPの位置を座標として定め、線形図データファイルを作成する。

総合解説：線形決定では交点IPの位置を座標として定め、線形図データファイルを作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0005

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

準則上、線形決定を行う地形図の地図情報レベルの標準として適切なものはどれか。

- ア．地図情報レベル1000以下
- イ．地図情報レベル2500以上に限定する。
- ウ．地図情報レベル5000に固定する。
- エ．地図情報レベル250に限定する。

答え・解説

正答：ア

ア：線形決定は地図情報レベル1000以下の地形図上で、設計条件と現地状況を勘案して行う。
イ：準則の標準条件と異なる。
ウ：固定値5000ではない。
エ：250に限定されてはいない。

総合解説：線形決定は地図情報レベル1000以下の地形図上で、設計条件と現地状況を勘案して行う。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0006

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

線形決定における条件点の座標値を求める方法として適切なものはどれか。

- ア．任意に設置した未測定点を原点として相対座標だけで決める。
- イ．近傍の4級基準点以上の基準点に基づき、放射法等で求める。
- ウ．航空写真上の目測位置だけで確定する。
- エ．既知点を使用せず、道路中心線の延長だけから求める。

答え・解説

正答：イ

ア：公共測量成果としての座標基準が確保できない。
イ：準則では条件点の座標値は近傍の4級基準点以上の基準点に基づき放射法等で求める。
ウ：写真上の目測だけでは所要の位置精度を保証できない。
エ：既知の測量基準との接続が必要である。

総合解説：準則では条件点の座標値は近傍の4級基準点以上の基準点に基づき放射法等で求める。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0007

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

線形決定の条件点をTS等で観測する。準則が標準とする観測回数の組合せはどれか。

- ア．水平角0.5対回、鉛直角2対回、距離1回測定
- イ．水平角2対回、鉛直角2対回、距離4回測定に固定
- ウ．水平角1対回、鉛直角0.5対回、距離2回測定
- エ．水平角観測を行わず距離1回だけ測定

答え・解説

正答：ウ

ア：観測回数の組合せが準則と異なる。
イ：一律にその回数を標準とはしていない。
ウ：準則の条件点観測では、TS等の場合、水平角1対回、鉛直角0.5対回、距離2回測定を標準とする。
エ：角観測を省略する標準ではない。
総合解説：準則の条件点観測では、TS等の場合、水平角1対回、鉛直角0.5対回、距離2回測定を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0008

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

条件点をRTK法等で観測する場合、1セット目終了後の標準的な扱いとして適切なものはどれか。

- ア．初期化状態を保持したまま同一セットを複製する。
- イ．2セット目だけを採用し、1セット目は破棄する。
- ウ．セット間比較をせず1エボックのみで終了する。
- エ．再初期化して2セット目を観測し、1セット目を採用値、2セット目を点検値とする。

答え・解説

正答：エ

ア：独立性のある点検にならない。
イ：準則で示された採用値と点検値の扱いと逆である。
ウ：所定の観測と点検手順を満たさない。
エ：条件点観測では、点検のため再初期化後に2セット目を行い、1セット目を採用値、2セット目を点検値とする。
総合解説：条件点観測では、点検のため再初期化後に2セット目を行い、1セット目を採用値、2セット目を点検値とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0009

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：応用

ネットワーク型RTK法の単点観測法を線形決定に用いる。作業地域周辺で整合確認を行う既知点の配置として適切なものはどれか。

- ア．作業地域を囲むように3点以上を標準として配置する。
- イ．作業地域中央の1点だけで確認する。
- ウ．同一直線上に2点だけ配置すればよい。
- エ．既知点での整合確認は不要である。

答え・解説

正答：ア

ア：単点観測法では、作業地域周辺を囲むように既知点を配置し、3点以上を標準として整合を確認する。
イ：1点では周辺との整合確認として不十分である。
ウ：準則の標準点数を満たさず、配置も不適切である。
エ：単点観測法では周辺既知点での整合確認が規定されている。
総合解説：単点観測法では、作業地域周辺を囲むように既知点を配置し、3点以上を標準として整合を確認する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0010

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

線形決定で座標が定められたIPを現地に直接設置する場合の方法として適切なものはどれか。

- ア．最寄りの中心杭だけを基準に目測で設置する。
- イ．近傍の4級基準点以上の基準点に基づき、放射法等で設置する。
- ウ．仮BMの標高だけから平面位置を決める。
- エ．公図上の図上距離だけで現地位置を確定する。

答え・解説

正答：イ

ア：目測では座標位置を保証できない。
イ：座標を持つIPは近傍の4級基準点以上の基準点に基づき、放射法等で現地へ設置する。
ウ：仮BMは主として高さの基準であり、平面位置をこれだけで決めない。
エ：図上距離のみでは所要の現地位置精度を確保できない。
総合解説：座標を持つIPは近傍の4級基準点以上の基準点に基づき、放射法等で現地へ設置する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0011

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

主要点と中心点を現地へ設置し、線形地形図データファイルを作成する工程はどれか。

ア：河川の水位標だけを設置する作業である。

イ：土地所有者の権利関係だけを調査する作業である。

ウ：主要点及び中心点を現地に設置し、線形地形図データファイルを作成する作業である。

エ：写真の標定要素だけを計算する作業である。

答え・解説

正答：ウ

ア：河川測量の内容である。

イ：用地測量の資料調査に関する内容である。

ウ：中心線測量は主要点・中心点を現地に設置し、線形地形図データファイルを作成する。

エ：写真測量の内容である。

総合解説：中心線測量は主要点・中心点を現地に設置し、線形地形図データファイルを作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0012

路線測量 > 中心線・IP・線形計画 | 難易度：基礎

道路の実施設計における中心点の設置間隔の標準として適切なものはどれか。

ア：10 mに固定し、道路種別や設計段階にかかわらず同じ間隔とする。

イ：50 m又は100 mとし、実施設計の中心点間隔として用いる。

ウ：200 mとし、距離標と同じ考え方で中心点を設置する。

エ：20 mを標準とし、道路の実施設計に必要な中心点を設置する。

答え・解説

正答：エ

ア：10 m固定は準則の標準値ではなく、条件にかかわらず固定する説明も不適切である。

イ：50 m又は100 mは道路の計画調査における標準と混同している。

ウ：200 mは中心点の標準間隔ではなく、他の距離基準との混同である。

エ：準則では道路の実施設計における中心点間隔は20 mを標準とする。

総合解説：準則では道路の実施設計における中心点間隔は20mを標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0013

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：基礎

路線の縦横断測量に先立って仮BM設置測量を行う理由として最も適切なものはどれか。

- ア．縦断測量・横断測量に必要な水準点を現地に設置し、その標高を定める。
- イ．IPの平面座標だけを求める。
- ウ．用地境界の権利者を確定する。
- エ．河川の流量曲線を作成する。

答え・解説

正答：ア

- ア：仮BMは縦断・横断測量に必要な高さの基準として設置し標高を定める。
- イ：IP設置とは目的が異なる。
- ウ：権利者確認は用地測量で行う。
- エ：流量曲線の作成とは異なる作業である。

総合解説：仮BMは縦断・横断測量に必要な高さの基準として設置し標高を定める。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0014

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：基礎

平地で仮BM設置測量を行う場合の標準として適切なものはどれか。

- ア．1級水準測量で行い、10 km間隔とする。
- イ．3級水準測量で行い、仮BMの設置間隔は0.5 kmを標準とする。
- ウ．4級水準測量で行い、20 m間隔とする。
- エ．簡易水準測量だけで行い、200 m間隔とする。

答え・解説

正答：イ

- ア：等級・間隔とも準則と異なる。
- イ：平地の仮BM設置測量は3級水準測量、設置間隔は0.5kmを標準とする。
- ウ：山地で4級水準測量を用いるが、20m間隔ではない。
- エ：平地の標準方法ではない。

総合解説：平地の仮BM設置測量は3級水準測量、設置間隔は0.5kmを標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0015

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：基礎

路線方向の地盤高を把握する工程について、縦断測量の作業内容を正しく述べたものはどれか。

- ア．中心線に直角な地形だけを測って横断面図を作る作業である。
- イ．用地取得面積だけを求める作業である。
- ウ．中心杭等の標高を定め、縦断面図データファイルを作成する作業である。
- エ．航空写真を正射変換する作業である。

答え・解説

正答：ウ

ア：横断測量の説明である。
イ：面積計算は用地測量の工程である。
ウ：縦断測量は中心杭等の標高を定め、路線方向の縦断面図データファイルを作成する。
エ：写真測量の工程である。
総合解説：縦断測量は中心杭等の標高を定め、路線方向の縦断面図データファイルを作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0016

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：基礎

路線の縦断測量で地盤高等を求める場合の標準的な方法の組合せとして適切なものはどれか。

- ア．平地も山地も1級水準測量に限定する。
- イ．平地は簡易水準測量、山地は2級水準測量で行う。
- ウ．すべてGNSS単独測位だけで行う。
- エ．平地は4級水準測量、山地は簡易水準測量で行う。

答え・解説

正答：エ

ア：必要以上に限定した方法で、準則の標準と異なる。
イ：平地と山地の組合せが逆方向である。
ウ：GNSS単独測位だけを標準とはしていない。
エ：準則では縦断測量を平地では4級水準測量、山地では簡易水準測量で行う。
総合解説：準則では縦断測量を平地では4級水準測量、山地では簡易水準測量で行う。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0017

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：標準

縦断測量の往復観測について適切なものはどれか。

- ア：往路では中心杭高、地盤高、主要構造物標高等を観測し、復路では中心杭高を観測する。
- イ：往路・復路とも主要構造物だけを観測する。
- ウ：復路では一切観測せず、往路だけで完結する。
- エ：往路では中心杭高を観測せず、復路でだけ観測する。

答え・解説

正答：ア

- ア：準則では往路で中心杭高等を広く観測し、復路では中心杭高を観測して点検性を確保する。
- イ：観測対象の組合せが異なる。
- ウ：復路観測を行う規定がある。
- エ：中心杭高は往路でも観測する。

総合解説：準則では往路で中心杭高等を広く観測し、復路では中心杭高を観測して点検性を確保する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0018

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：応用

線形地形図の縮尺が1:1,000である。縦断面図を図紙出力する場合の標準的な縦縮尺の範囲として適切なものはどれか。

- ア：縦縮尺を1:1,000～1:500程度とし、横縮尺に近い縮尺とする。
- イ：縦縮尺を1:200～1:100程度とし、高低差を読み取りやすくする。
- ウ：縦縮尺を1:5,000～1:10,000程度とし、横方向よりさらに縮小する。
- エ：縦縮尺を1:50～1:20程度に固定し、地形条件によらず使用する。

答え・解説

正答：イ

- ア：縦方向の拡大が不足する。
- イ：縦断面図の横縮尺は線形地形図と同一、縦縮尺はその5倍～10倍の拡大を標準とするため、1:1000に対して1:200～1:100となる。
- ウ：縮小方向であり準則の標準と逆である。
- エ：標準範囲より過大な拡大である。

総合解説：縦断面図の横縮尺は線形地形図と同一、縦縮尺はその5倍～10倍の拡大を標準とするため、1:1000に対して1:200～1:100となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0019

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：標準

横断測量で地形変化点等を測定する方向として適切なものはどれか。

- ア：中心線の接線方向そのもの
- イ：常に真北方向
- ウ：中心点における中心線の接線に対して直角方向
- エ：最寄りの基準点へ向かう方向

答え・解説

正答：ウ

ア：これは縦方向に近く横断にならない。
イ：方位を真北に固定する規定ではない。
ウ：横断測量は中心線に対して横方向の断面を得るため、中心点での接線に直角な方向を標準とする。
エ：基準点方向で決めるものではない。
総合解説：横断測量は中心線に対して横方向の断面を得るため、中心点での接線に直角な方向を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0020

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：応用

RTK法で横断測量を行い、ある観測点で初期化を行った。次の処理として準則に適合するものはどれか。

- ア：最初の1エポックだけを採用して直ちに次点へ移る。
- イ：再初期化せず同じ解を複製して2セットとする。
- ウ：初期化を行った点では点検を実施しない。
- エ：点検用1セット後に再初期化して2セット目を観測し、その2セット目を採用値として観測を継続する。

答え・解説

正答：エ

ア：所定の点検手順を満たさない。
イ：独立した再初期化による点検にならない。
ウ：初期化点では観測値の点検が必要である。
エ：横断測量のRTK等では初期化点で点検を行い、再初期化した2セット目を採用値として継続する。
総合解説：横断測量のRTK等では初期化点で点検を行い、再初期化した2セット目を採用値として継続する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0021

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：応用

平地の横断測量で、中心杭から末端見通杭までの測定距離Lが80 mであった。点検測量における距離の較差の標準許容範囲はいくらか。

- ア . 0.16 mであり、距離Lに応じた許容範囲として扱う。
- イ . 0.04 mであり、Lにかかわらず常にこの値とする。
- ウ . 0.08 mであり、観測距離の半分だけを基準にする。
- エ . 0.24 mであり、Lに一定率を二重に加算する。

答え・解説

正答：ア

ア：平地の距離較差はL/500。80/500=0.16mである。
イ：L/2000に相当し、この点検基準ではない。
ウ：L/1000に相当し、この点検基準ではない。
エ：山地のL/300なら約0.267mであり0.24mではない。
総合解説：平地の距離較差はL/500。80/500=0.16mである。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0022

路線測量 > 縦断・横断測量 | 難易度：標準

- 令和7年改正後の準則に照らし、路線の縦断面図・横断面図の作成方法として適切なものはどれか。
- ア . 必ずレベルによる手簿から手描きで作成しなければならない。
 - イ . 所定の測量結果のほか、第4編を準用して三次元点群データから作成することもできる。
 - ウ . 三次元点群データの利用は路線測量では禁止されている。
 - エ . 航空写真の色調情報だけから標高を推定して作成する。

答え・解説

正答：イ

ア：デジタル成果作成を前提とする現行準則と合わない。
イ：現行準則では三次元点群データを使用した断面図作成方法が追加されている。
ウ：令和7年改正で点群利用が明示されている。
エ：必要な三次元位置情報を確保する方法ではない。
総合解説：現行準則では三次元点群データを使用した断面図作成方法が追加されている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0023

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：標準

道路線形で直線と円曲線の間に緩和曲線を設ける主な目的として最も適切なものはどれか。

- ア．曲線区間の標高を常に一定にするため。
- イ．道路幅を曲線部だけゼロにするため。
- ウ．曲率を徐々に変化させ、急な操舵や乗員への急激な横方向作用を抑えるため。
- エ．IPの座標を不要にするため。

答え・解説

正答：ウ

ア：緩和曲線の主目的は縦断標高の固定ではない。
イ：道路幅をなくすための線形要素ではない。
ウ：過去の測量士試験でも、直線から円曲線へ曲率が急変することによる急なハンドル操作等を避ける理由が問われている。
エ：IPは線形計画上の基礎要素である。
総合解説：過去の測量士試験でも、直線から円曲線へ曲率が急変することによる急なハンドル操作等を避ける理由が問われている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0024

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：標準

基本型クロソイド曲線の性質として適切なものはどれか。

- ア．曲率が全区間で一定であり円曲線と同じである。
- イ．曲率が不連続に0から一定値へ跳ぶ。
- ウ．平面線形では使用できず縦断曲線だけに用いる。
- エ．曲線長に応じて曲率が連続的に変化し、直線と円曲線の接続に適している。

答え・解説

正答：エ

ア：曲率一定は円曲線の特徴である。
イ：緩和曲線は曲率を連続変化させることに意味がある。
ウ：道路の平面線形で代表的に利用される。
エ：クロソイドは曲率が連続的に変化するため、緩和曲線として合理的である。
総合解説：クロソイドは曲率が連続的に変化するため、緩和曲線として合理的である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0025

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：基礎

用地幅杭設置測量の目的として適切なものはどれか。

- ア．取得等に係る用地の範囲を示すため、所定位置に用地幅杭を設置する。
- イ．河川の水深を標示するため水中に杭を設置する。
- ウ．水準基標の標高を決定する。
- エ．土地所有者の署名を集めるだけの作業である。

答え・解説

正答：ア

ア：用地幅杭は路線事業に必要な用地範囲を現地で示すために設置する。
イ：深浅測量の目的と異なる。
ウ：水準基標測量の目的である。
エ：権利確認だけを行う工程ではない。
総合解説：用地幅杭は路線事業に必要な用地範囲を現地で示すために設置する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0026

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：標準

用地幅杭点の設置方法として準則に適合するものはどれか。

- ア．中心線と平行方向に一定距離だけ移動して目測で設置する。
- イ．中心点等から中心線に直角方向の用地幅杭点座標を計算し、4級基準点以上等から放射法等で設置する。
- ウ．仮BMからの標高差だけで平面位置を決める。
- エ．公図の縮尺だけを使って現地位置を決める。

答え・解説

正答：イ

ア：中心線に直角方向が基本で、目測ではない。
イ：用地幅杭点は座標計算により位置を定め、基準点等に基づく放射法等で設置する。
ウ：高さ情報だけでは平面位置を決められない。
エ：現地座標の基準が必要である。
総合解説：用地幅杭点は座標計算により位置を定め、基準点等に基づく放射法等で設置する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0027

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：標準

用地幅杭点間測量で行う点検として適切なものはどれか。

- ア．代表1辺だけを測定し、他の辺は点検しない。
- イ．標高差だけを比較し、水平距離は確認しない。
- ウ．隣接する用地幅杭点間の全辺を現地測定し、座標から計算した距離と比較する。
- エ．用地幅杭点と河川距離標の距離だけを測る。

答え・解説

正答：ウ

ア：全辺確認が標準である。
イ：距離の精度確認が目的である。
ウ：準則では隣接する用地幅杭点間の全辺を測定し、計算距離と比較する。
エ：河川距離標との比較ではない。
総合解説：準則では隣接する用地幅杭点間の全辺を測定し、計算距離と比較する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0028

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：応用

用地幅杭点間測量の点検で、平地にある隣接杭の計算距離Sが80 mだった。現地測定値との差に適用する標準許容範囲はどれか。

- ア．20 mmであり、距離Sによらない固定値とする。
- イ．80 mmであり、Sの1/1000をそのまま許容値とする。
- ウ．160 mmであり、Sの増加分を過大に見込む。
- エ．40 mmであり、平地の点検基準に従って判定する。

答え・解説

正答：エ

ア：S/4000相当で小さすぎる。
イ：山地のS/1000に相当する。
ウ：S/500に相当し、この基準ではない。
エ：20m以上の平地ではS/2,000が標準。80m/2000=0.04m=40mmである。
総合解説：20m以上の平地ではS/2,000が標準。80m/2000=0.04m=40mmである。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0029

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：標準

線形決定から縦横断測量までを実施した路線測量について、整理すべき成果の組合せとして妥当なものはどれか。

ア．線形図データ、線形地形図データ、縦横断面図データ、精度管理表などを作業内容に応じて整理する。

イ．土地境界確認書と面積計算書だけを整理する。

ウ．オルソ画像と数値写真だけを必ず提出する。

エ．河川の等深線図と汀線図だけを整理する。

答え・解説

正答：ア

ア：路線測量では線形・線形地形図・縦横断面図・詳細平面図、精度管理表等が作業に応じた成果となる。

イ：用地測量の成果である。

ウ：写真測量の成果を路線測量の標準成果として一律に求めるものではない。

エ：河川・海岸測量の成果である。

総合解説：路線測量では線形・線形地形図・縦横断面図・詳細平面図、精度管理表等が作業に応じた成果となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0030

路線測量 > 曲線設置・用地幅杭・成果 | 難易度：標準

路線測量のデジタル成果を納品前に整理する際、品質情報の扱いとして正しいものはどれか。

ア．精度管理表があれば品質評価は不要である。

イ．成果の品質評価を行い、対象成果についてメタデータを作成する。

ウ．デジタル成果ではメタデータを作成しない。

エ．品質評価は用地測量だけに適用される。

答え・解説

正答：イ

ア：精度管理と品質評価は同一ではない。

イ：路線測量では品質評価とメタデータ作成が規定され、成果の品質と内容を明示する。

ウ：デジタル成果こそメタデータが重要である。

エ：路線測量にも品質評価規定がある。

総合解説：路線測量では品質評価とメタデータ作成が規定され、成果の品質と内容を明示する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0031

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：基礎

河川・海岸の調査や維持管理に利用する測量を、準則ではどのように位置付けているか。最も適切な説明を選べ。

- ア．道路中心線の設置だけを目的とする測量である。
- イ．土地境界の権利確認だけを行う測量である。
- ウ．河川、海岸等の調査及び河川の維持管理等に用いる測量である。
- エ．衛星画像の分類だけを行う測量である。

答え・解説

正答：ウ

ア：路線測量の一部に限った説明である。
イ：用地測量の内容である。
ウ：河川測量は河川・海岸等の調査や河川維持管理等に用いられる。
エ：リモートセンシングの説明である。
総合解説：河川測量は河川・海岸等の調査や河川維持管理等に用いられる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0032

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

河川測量の作業計画を細分化する際、準則に明示されている工程はどれか。

- ア．境界確認
- イ．空中三角測量
- ウ．既成図数値化
- エ．距離標設置測量

答え・解説

正答：エ

ア：用地測量の工程である。
イ：写真測量の工程である。
ウ：地形測量・地図作成に関する工程である。
エ：距離標設置測量は河川測量の細分の一つである。
総合解説：距離標設置測量は河川測量の細分の一つである。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0033

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：基礎

河川の縦方向の位置管理に使う距離標について、その設置測量の内容を正しく述べたものはどれか。
ア．河心線の接線に直角方向の兩岸の堤防法肩又は法面等に距離標を設置する作業である。
イ．河床に等間隔の水深標を沈設する作業である。
ウ．道路中心線上にIPを設置する作業である。
エ．土地境界点に用地境界杭を設置する作業である。

答え・解説

正答：ア

ア：距離標は河心線に沿った位置管理の基準であり、兩岸側の所定位置に設置する。
イ：深浅測量の作業ではない。
ウ：路線測量のIP設置とは異なる。
エ：用地境界杭とは目的が異なる。
総合解説：距離標は河心線に沿った位置管理の基準であり、兩岸側の所定位置に設置する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0034

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

河川の距離標の設置間隔の標準として適切なものはどれか。
ア．20m（道路の中心点間隔を流用する考え）
イ．起点から河心に沿って200m（河川の距離程に沿って配置する考え）
ウ．500m（河川距離標をより疎に配置する考え）
エ．5km（水準基標の間隔を距離標へ流用する考え）

答え・解説

正答：イ

ア：道路実施設計の中心点間隔等と混同している。
イ：距離標は河口又は幹川への合流点の起点から河心に沿って200m間隔を標準とする。
ウ：準則の標準距離ではない。
エ：水準基標の設置間隔と混同している。
総合解説：距離標は河口又は幹川への合流点の起点から河心に沿って200m間隔を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0035

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

距離標を現地に設置する方法として準則に適合するものはどれか。

ア．河川水位だけから平面位置を決定する。

イ．近傍基準点がなくとも目測のみで設置する。

ウ．あらかじめ地形図上で位置を選定し、近傍の3級基準点等から放射法等で設置する。

エ．用地実測図の境界点座標だけをそのまま距離標とする。

答え・解説

正答：ウ

ア：水位は高さ情報であり平面位置決定の代替にならない。

イ：基準点がない場合は必要に応じ3級基準点等を設置できる。

ウ：距離標は地形図上で位置を選定し、近傍の3級基準点等を利用して設置する。

エ：用地境界点とは役割が異なる。

総合解説：距離標は地形図上で位置を選定し、近傍の3級基準点等を利用して設置する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0036

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

距離標設置でネットワーク型RTKの単点観測法を用い、位置情報サービス事業者が算出した任意地点の補正データを使う場合の距離条件として適切なものはどれか。

ア．500 m以内に限定

イ．10 km以内

ウ．距離制限はない

エ．補正データ地点から距離標まで3 km以内

答え・解説

正答：エ

ア：500mという規定ではない。

イ：3kmを超える。

ウ：距離条件が定められている。

エ：準則ではこの場合、補正データを算出した地点から距離標まで3km以内とする。

総合解説：準則ではこの場合、補正データを算出した地点から距離標まで3km以内とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0037

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

距離標設置測量で、距離標の位置を示すために作成するものはどれか。

- ア．点の記
- イ．土地境界確認書
- ウ．空中写真標定図
- エ．面積計算書

答え・解説

正答：ア

- ア：距離標の位置を示すため点の記を作成する。
- イ：用地測量の境界確認で用いる書類である。
- ウ：写真測量の成果である。
- エ：用地測量の面積計算成果である。

総合解説：距離標の位置を示すため点の記を作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0038

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：基礎

水準基標測量の目的として適切なものはどれか。

- ア．距離標の平面位置だけを定める。
- イ．定期縦断測量の基準となる水準基標の標高を定める。
- ウ．河川の流速だけを測定する。
- エ．堤防の所有権境界を確認する。

答え・解説

正答：イ

- ア：距離標設置とは目的が異なる。
- イ：水準基標は河川の定期縦断測量における高さの基準となる。
- ウ：流量観測の直接目的ではない。
- エ：用地境界確認の内容ではない。

総合解説：水準基標は河川の定期縦断測量における高さの基準となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0039

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

水準基標測量の標準的な方法はどれか。

- ア．4級水準測量
- イ．簡易水準測量のみ
- ウ．2級水準測量
- エ．GNSS単独測位のみ

答え・解説

正答：ウ

ア：定期縦断測量では条件により3級・4級等を用いるが、水準基標測量の標準は2級である。
イ：簡易水準測量に限定しない。
ウ：準則では水準基標測量は2級水準測量により行う。
エ：GNSS単独測位を標準とはしていない。

総合解説：準則では水準基標測量は2級水準測量により行う。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0040

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

水準基標の設置について適切なものはどれか。

- ア．河心中央に設置し、200 m間隔とする。
- イ．堤防外だけに設置し、0.5 km間隔とする。
- ウ．位置は任意で、間隔の標準はない。
- エ．水位標に近接して設置し、間隔は5～20 kmを標準とする。

答え・解説

正答：エ

ア：河心中に設置するものではない。200mは距離標の標準間隔である。
イ：0.5kmは路線測量の仮BM間隔である。
ウ：標準間隔が規定されている。
エ：水準基標は水位標に近接し、5kmから20kmまでを標準間隔とする。

総合解説：水準基標は水位標に近接し、5kmから20kmまでを標準間隔とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0041

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

河川測量で高さの基準を安定して維持するための考え方として最も適切なものはどれか。

ア．水準基標を水位標に近接して設け、その標高を2級水準測量で定める。

イ．距離標を水中に設置して水深そのものを高さの基準とする。

ウ．任意の護岸天端を無測量で標高基準とする。

エ．毎回異なるGNSS単独測位値を基準として固定成果とする。

答え・解説

正答：ア

ア：河川の高さ管理では水準基標が水位・縦断測量等の基準となる。

イ：距離標は主として河川方向の位置管理に用いる。

ウ：無測量の任意点では標高基準として信頼できない。

エ：一貫した測地基準に接続した成果が必要である。

総合解説：河川の高さ管理では水準基標が水位・縦断測量等の基準となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0042

河川測量 > 距離標・水準基標・河川基準点 | 難易度：標準

河川・水路等の新設及び改修に係る測量について、準則上の扱いとして適切なものはどれか。

ア．用地測量だけを準用する。

イ．路線測量の規定を準用する。

ウ．地図編集だけを準用する。

エ．河川測量では他章の規定を一切準用しない。

答え・解説

正答：イ

ア：用地取得が伴う場合に用地測量を行うことはあるが、この規定の準用先ではない。

イ：準則第660条では、河川・水路等の新設・改修に係る測量は路線測量の章を準用するとしている。

ウ：地図編集だけではない。

エ：他章の準用が明示されている。

総合解説：準則第660条では、河川・水路等の新設・改修に係る測量は路線測量の章を準用するとしている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0043

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：基礎

河川の経年的な縦断形状を把握するために行う「定期縦断測量」の内容として正しいものはどれか。
ア．水底の深さだけを測り等深線図だけを作る。
イ．境界杭を復元して土地境界確認書を作る。
ウ．定期的に距離標等の縦断測量を実施し、縦断面図データファイルを作成する。
エ．道路のIPだけを設置する。

答え・解説

正答：ウ

ア：深浅測量の説明である。
イ：用地測量の説明である。
ウ：定期縦断測量は河川沿いの標高等を定期的に測定して縦断面図を作成する。
エ：路線測量のIP設置の説明である。
総合解説：定期縦断測量は河川沿いの標高等を定期的に測定して縦断面図を作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0044

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：標準

定期縦断測量をレベル等で行う場合の標準として適切なものはどれか。
ア．平地は4級、山地は2級
イ．平地・山地とも1級に限定
ウ．平地・山地とも簡易水準のみ
エ．平地は3級水準測量、山地は4級水準測量

答え・解説

正答：エ

ア：等級の組合せが異なる。
イ：過剰かつ準則の標準ではない。
ウ：簡易水準だけに限定されない。
エ：準則では平地は3級、山地は4級水準測量を標準とする。
総合解説：準則では平地は3級、山地は4級水準測量を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0045

河川測量 > 定期縦横断・深淺測量 | 難易度：標準

河川の定期縦断測量で高さを結ぶ観測路線は、原則どのように構成するか。

- ア．水準基標から出発し、他の水準基標に結合する。
- イ．任意の距離標から出発し同じ距離標に戻らず終了する。
- ウ．河口の水位だけを基準にして結合点を設けない。
- エ．船位だけを用いて標高を決める。

答え・解説

正答：ア

ア：定期縦断測量は水準基標を基準にし、他の水準基標へ結合する路線を原則とする。
イ：高さの既知基準への結合が不足する。
ウ：水位だけでは標高路線の閉合確認にならない。
エ：船位は平面位置情報である。
総合解説：定期縦断測量は水準基標を基準にし、他の水準基標へ結合する路線を原則とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0046

河川測量 > 定期縦横断・深淺測量 | 難易度：標準

河川の定期縦断面図を図紙出力する場合の標準的な縮尺範囲として適切なものはどれか。

- ア．横1:100～1:500、縦1:1,000～1:5,000
- イ．横1:1,000～1:100,000、縦1:100～1:200
- ウ．横1:250固定、縦1:250固定
- エ．横1:1,000,000のみ、縦1:10,000のみ

答え・解説

正答：イ

ア：横断面図の範囲等と混同している。
イ：準則では定期縦断面図の横縮尺は1:1,000～1:100,000、縦縮尺は1:100～1:200を標準とする。
ウ：固定値ではない。
エ：標準範囲外である。
総合解説：準則では定期縦断面図の横縮尺は1:1,000～1:100,000、縦縮尺は1:100～1:200を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0047

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：標準

定期横断測量における陸部と水部の扱いとして適切なものはどれか。

- ア．陸部も水部も必ず音響測深機だけで測る。
- イ．水際杭を設けず全域を用地測量として扱う。
- ウ．水際杭を境に分け、陸部は路線横断測量の規定、水部は深浅測量の規定を準用する。
- エ．陸部だけを測り水部は成果から除外する。

答え・解説

正答：ウ

ア：陸部で音響測深機を使うことを標準とはしない。
イ：用地測量ではない。
ウ：水際杭を境に陸部・水部を区分し、それぞれ適切な測量規定を準用する。
エ：水部も横断地形把握の対象となる。
総合解説：水際杭を境に陸部・水部を区分し、それぞれ適切な測量規定を準用する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0048

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：標準

定期横断測量で、堤内側の陸部の測量範囲の標準として適切なものはどれか。

- ア．堤内側は2～5 m程度だけ測ればよい。
- イ．堤内側は100～200 mを一律に測量する。
- ウ．堤内側は常に500 m以上まで測量する。
- エ．堤内側は20～50 m程度を標準として測量する。

答え・解説

正答：エ

ア：標準範囲より小さい。
イ：標準範囲より大きい。
ウ：そのような下限規定ではない。
エ：準則では定期横断測量の堤内側の範囲は20～50mを標準とする。
総合解説：準則では定期横断測量の堤内側の範囲は20～50mを標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0049

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：基礎

河川・貯水池・湖沼・海岸で水底地形を把握するとき、深浅測量が直接測定する対象の組合せとして最も適切なものはどれか。

- ア．水底部の地形を明らかにするため、水深・測深位置・水位等を測定し横断面図データを作成する。
- イ．河川沿いの土地所有者を確定する。
- ウ．道路の縦断勾配だけを計算する。
- エ．衛星画像の反射率だけを求める。

答え・解説

正答：ア

ア：深浅測量は河川、貯水池、湖沼、海岸等の水底地形を把握するための測量である。

イ：用地測量の内容である。

ウ：路線設計の内容に限定した説明である。

エ：リモートセンシングの説明である。

総合解説：深浅測量は河川、貯水池、湖沼、海岸等の水底地形を把握するための測量である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0050

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：標準

深浅測量における水深測定方法として準則に適合するものはどれか。

- ア．常にTSの距離測定だけで水深を求める。
- イ．原則は音響測深機を用い、水深が浅い場合はロッド又はレッドによる直接測定もできる。
- ウ．水深に関係なくGNSS受信機だけを水面上で用いる。
- エ．必ず潜水土による目測で測定する。

答え・解説

正答：イ

ア：TSだけでは水底までの水深を直接得る標準方法ではない。

イ：水深は音響測深機を原則とし、浅い場合にロッド等の直接測定を認めている。

ウ：GNSSは船位等に利用できるが水深そのものの測定機器ではない。

エ：目測を標準とはしない。

総合解説：水深は音響測深機を原則とし、浅い場合にロッド等の直接測定を認めている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0051

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：標準

深浅測量でワイヤーロープを用いて測深位置を定める場合の測点間隔の標準はどれか。

- ア：測点間隔を20 mとし、河床変化を概略把握する。
- イ：測点間隔を50 mとし、横断方向の変化を粗く捉える。
- ウ：測点間隔を5 mとするのが標準である。
- エ：河幅や目的に関係なく100 mに固定する。

答え・解説

正答：ウ

ア：準則値ではない。
イ：TS/GNSSでは10～100mの範囲が標準となるがワイヤーロープは5mである。
ウ：ワイヤーロープを用いる場合の測点間隔は5mを標準とする。
エ：固定100mではない。
総合解説：ワイヤーロープを用いる場合の測点間隔は5mを標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0052

河川測量 > 定期縦横断・深浅測量 | 難易度：応用

音響測深機を用いる深浅測量の品質確保として適切なものはどれか。

- ア：深度校正は月1回でよく、片道値だけを必ず採用する。
- イ：校正は不要で、GNSS時刻だけ合えばよい。
- ウ：往復値が異なる場合は常に大きい方を採用する。
- エ：機器所定の深度校正を毎日1回以上行い、原則として指定ピッチ位置で往復測定した平均値を採用する。

答え・解説

正答：エ

ア：校正頻度・採用方法とも異なる。
イ：測深機の深度校正は必要である。
ウ：大きい方を機械的に採用する規定ではない。
エ：準則では深度校正を毎日1回以上行い、原則往復測定の平均値を採用する。
総合解説：準則では深度校正を毎日1回以上行い、原則往復測定の平均値を採用する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0053

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：基礎

河川管理で用いる流量Qの物理的な意味として正しいものはどれか。

- ア．単位時間に河川のある横断面を通過する水の体積で、通常 m^3/s で表す。
- イ．水面の標高だけを表す値である。
- ウ．河床材料の単位体積重量を表す値である。
- エ．河川幅だけを表す値である。

答え・解説

正答：ア

- ア：流量は単位時間に横断面を通過する水の体積であり、一般に m^3/s で表す。
- イ：これは水位に近い概念である。
- ウ：流量の定義ではない。
- エ：幅だけでは流量を表せない。

総合解説：流量は単位時間に横断面を通過する水の体積であり、一般に m^3/s で表す。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0054

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：応用

河川横断面の流水断面積が 24 m^2 、断面平均流速が 1.5 m/s である。流速断面積法による流量はいくらか。

- ア． $16 \text{ m}^3/\text{s}$ 。断面積を流速で除して求める。
- イ． $36 \text{ m}^3/\text{s}$ 。断面積 24 m^2 に平均流速 1.5 m/s を乗じる。
- ウ． $25.5 \text{ m}^3/\text{s}$ 。断面積と流速を加算して求める。
- エ． $48 \text{ m}^3/\text{s}$ 。平均流速を2倍して断面積に乗じる。

答え・解説

正答：イ

- ア：面積を流速で割った値ではない。
- イ：流速断面積法では $Q=A \times V$ なので、 $24 \times 1.5=36 \text{ m}^3/\text{s}$ である。
- ウ：足し算では求めない。
- エ：計算結果が異なる。

総合解説：流速断面積法では $Q=A \times V$ なので、 $24 \times 1.5=36 \text{ m}^3/\text{s}$ である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0055

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：標準

河川砂防技術基準に示される流量観測手法の大別として適切な組合せはどれか。

- ア．水準測量法、境界測量法、写真判読法
- イ．単独測位法、相対測位法、静止測位法
- ウ．流速断面積法、水理構造物法、間接計測法
- エ．平板測量法、地図編集法、数値図化法

答え・解説

正答：ウ

ア：測量工程の分類であり流量観測手法ではない。
イ：GNSS測位法の分類である。
ウ：国土交通省の技術基準では流量観測手法を流速断面積法、水理構造物法、間接計測法に大別している。
エ：地形・地図作成手法である。
総合解説：国土交通省の技術基準では流量観測手法を流速断面積法、水理構造物法、間接計測法に大別している。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0056

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：標準

可搬型流速計や浮子測法などの非固定式流量観測について適切な説明はどれか。

- ア．一度観測すれば以後の全時刻の流量が自動的に確定する。
- イ．水位との関係を考える必要は一切ない。
- ウ．非固定式観測は流量を直接求められない。
- エ．現地観測を実施した日時の流量値が得られるため、連続流量が必要なら固定式観測や水位流量曲線との組合せを検討する。

答え・解説

正答：エ

ア：時系列全体が自動で得られるわけではない。
イ：連続流量推定では水位との関係が重要である。
ウ：流速断面積法等により流量を求められる。
エ：非固定式観測は観測時点の値を得る方法で、連続資料には固定式や水位流量曲線等が利用される。
総合解説：非固定式観測は観測時点の値を得る方法で、連続資料には固定式や水位流量曲線等が利用される。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0057

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：標準

河川測量成果の品質評価について適切なものはどれか。

- ア． 準則の基準点測量における品質評価規定を準用して行う。
- イ． 河川測量では品質評価を行わない。
- ウ． 流量が測れた場合だけ品質評価を省略できる。
- エ． 成果図を印刷すれば自動的に品質適合とみなす。

答え・解説

正答：ア

- ア：準則第677条は河川測量成果の品質評価に第44条の規定を準用する。
- イ：品質評価規定がある。
- ウ：流量観測の有無で免除される規定ではない。
- エ：品質適合は評価により確認する必要がある。

総合解説：準則第677条は河川測量成果の品質評価に第44条の規定を準用する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0058

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：標準

河川測量成果の整理に関する説明として適切なものはどれか。

- ア． デジタル成果ではメタデータを作成しない。
- イ． 成果に応じてメタデータを作成し、精度管理表・品質評価表等とともに整理する。
- ウ． 観測手簿だけあれば精度管理表は不要である。
- エ． 河川測量では成果表以外のデータファイルを作成しない。

答え・解説

正答：イ

- ア：デジタル成果の内容や品質を示すためメタデータが必要である。
- イ：準則では河川測量成果のメタデータ作成を規定し、各種成果・精度管理表等を整理する。
- ウ：精度管理表は所定の測量で作成する。
- エ：縦断・横断・線形・等深線等のデータファイルが成果となり得る。

総合解説：準則では河川測量成果のメタデータ作成を規定し、各種成果・精度管理表等を整理する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0059

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：標準

深浅測量でRTK法又はネットワーク型RTK法により船位等を観測する場合の標準として適切なものはどれか。

- ア．4衛星以下でFLOAT解のまま1回観測する。
- イ．10分間隔で1エポックだけ記録する。
- ウ．5衛星以上を使用し、FIX解取得後1エポック以上、データ取得間隔1秒とする。
- エ．衛星数に関する条件はない。

答え・解説

正答：ウ

ア：FIX解と所定衛星数が必要である。
イ：取得間隔が標準と異なる。
ウ：準則では5衛星以上、FIX解を得てから1エポック以上、1秒間隔を標準としている。
エ：使用衛星数の標準がある。
総合解説：準則では5衛星以上、FIX解を得てから1エポック以上、1秒間隔を標準としている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0060

河川測量 > 流量・河川成果・精度管理 | 難易度：標準

次のうち、河川測量の成果として作成され得るものの組合せとして最も適切なものはどれか。

- ア．土地境界確認書と用地実測図だけ
- イ．線形地形図と用地幅杭点だけ
- ウ．航空写真の外部標定要素だけ
- エ．縦断面図データ、横断面図データ、等高・等深線図データ、汀線図データ等

答え・解説

正答：エ

ア：用地測量の成果に偏っている。
イ：主に路線測量の成果である。
ウ：写真測量の成果である。
エ：河川測量では作業内容に応じ、縦横断面図、等高・等深線図、汀線図等が成果となる。
総合解説：河川測量では作業内容に応じ、縦横断面図、等高・等深線図、汀線図等が成果となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0061

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：基礎

用地取得に必要な測量を計画している。準則上の「用地測量」の目的を正しく表すものはどれか。
ア．土地及び境界等を調査し、用地取得等に必要な資料及び図面を作成する作業である。
イ．河川流量だけを観測する作業である。
ウ．道路中心線の曲率だけを決定する作業である。
エ．航空写真からDSMだけを作成する作業である。

答え・解説

正答：ア

ア：用地測量は土地・境界の調査と、用地取得等に必要な資料・図面作成を行う。
イ：河川水文観測の内容である。
ウ：路線線形設計に限定した説明である。
エ：写真・点群測量の説明である。
総合解説：用地測量は土地・境界の調査と、用地取得等に必要な資料・図面作成を行う。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0062

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

用地測量の工程体系を整理する場合、その細分に含まれる作業はどれか。
ア．深浅測量
イ．復元測量
ウ．空中三角測量
エ．線形決定

答え・解説

正答：イ

ア：河川測量の工程である。
イ：復元測量は用地測量の細分である。
ウ：写真測量の工程である。
エ：路線測量の工程である。
総合解説：復元測量は用地測量の細分である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0063

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

用地測量の資料調査として適切な内容はどれか。

- ア．音響測深機の深度校正だけを行う。
- イ．航空レーザ点群のフィルタリングだけを行う。
- ウ．公図等の転写、土地・建物の登記記録の調査、権利者確認調査を行う。
- エ．道路のクロソイドパラメータだけを計算する。

答え・解説

正答：ウ

ア：河川深浅測量の内容である。
イ：点群処理の内容である。
ウ：資料調査では法務局等の公図等や登記記録、権利者に関する資料を調査・整理する。
エ：路線線形計算の内容である。
総合解説：資料調査では法務局等の公図等や登記記録、権利者に関する資料を調査・整理する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0064

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

調査区域が広範である場合の公図等の整理として準則に適合するものはどれか。

- ア．必ず個別の公図を廃棄して現地測量だけに切り替える。
- イ．用地平面図を資料調査前に完成させる。
- ウ．河川縦断面図を代用する。
- エ．公図等転写連続図を作成する。

答え・解説

正答：エ

ア：既存資料の調査・転写は重要工程である。
イ：資料調査前に最終図面を完成させる順序ではない。
ウ：目的・内容が異なる成果である。
エ：広範な区域では公図等転写連続図を作成する。
総合解説：広範な区域では公図等転写連続図を作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0065

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

土地の登記記録の調査で作成する標準的な調査表はどれか。

- ア．土地調査表
- イ．水準路線図
- ウ．線形図
- エ．点群密度管理表

答え・解説

正答：ア

- ア：土地の登記記録は登記事項証明書等に基づき土地調査表を作成して調査する。
- イ：河川・水準測量の成果である。
- ウ：路線測量の成果である。
- エ：点群測量の品質管理資料である。

総合解説：土地の登記記録は登記事項証明書等に基づき土地調査表を作成して調査する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0066

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

建物の登記記録調査と権利者確認調査の成果の組合せとして適切なものはどれか。

- ア．面積計算書／水準路線図
- イ．建物の登記記録等調査表／権利者調査表
- ウ．線形図／縦断面図
- エ．品質評価表／点の記

答え・解説

正答：イ

- ア：異なる測量工程の成果である。
- イ：建物登記記録は建物の登記記録等調査表、権利者確認調査は権利者調査表に整理する。
- ウ：路線測量の成果である。
- エ：品質・位置記録の一般成果であり、この対応ではない。

総合解説：建物登記記録は建物の登記記録等調査表、権利者確認調査は権利者調査表に整理する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0067

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：基礎

境界確認の前段階で行う復元測量について、その目的と作業内容を正しく述べたものはどれか。

ア．関係権利者の署名だけを収集する作業である。

イ．境界確認後に任意の位置へ杭を追加する作業である。

ウ．境界確認に先立ち、地積測量図等に基づいて境界杭を確認し、亡失等があれば復元すべき位置に復元杭を設置する。

エ．面積計算結果から河川距離標を設置する作業である。

答え・解説

正答：ウ

ア：署名だけの作業ではない。

イ：境界確認に先立って行う。

ウ：復元測量は境界確認の前段階で、既存資料に基づき境界杭の位置を検討し、必要に応じ復元杭を設置する。

エ：河川距離標とは関係しない。

総合解説：復元測量は境界確認の前段階で、既存資料に基づき境界杭の位置を検討し、必要に応じ復元杭を設置する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0068

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：応用

復元測量に着手する前の資料の扱いとして適切なものはどれか。

ア．資料の年代や精度を確認せず、図上位置を絶対視する。

イ．最新資料があっても古い図だけを必ず採用する。

ウ．資料調査を省略し、全境界を新規設定する。

エ．収集した地積測量図等の精度や測量年度を確認し、その結果を踏まえて境界杭を調査する。

答え・解説

正答：エ

ア：古い資料や精度の低い資料を無批判に使うのは危険である。

イ：資料の妥当性を比較して判断すべきである。

ウ：既存権利関係や資料を無視して新規境界を設定できない。

エ：資料の精度・測量年度等を確認することが、適切な復元判断の前提となる。

総合解説：資料の精度・測量年度等を確認することが、適切な復元判断の前提となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0069

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

復元杭を設置する場合の関係権利者への対応として準則に適合するものはどれか。

- ア．事前説明を実施し、復元測量では原則として関係権利者による立会いは行わない。
- イ．説明せずに設置し、後日だけ通知する。
- ウ．必ず境界確認と同じ全権利者立会いで実施する。
- エ．権利者への連絡は一切不要である。

答え・解説

正答：ア

- ア：復元杭設置等では関係権利者へ事前説明し、復元測量自体は原則立会いなしで行う。
- イ：事前説明が必要である。
- ウ：境界確認とは手続が異なる。
- エ：立入日程通知等を含め権利者対応が必要である。

総合解説：復元杭設置等では関係権利者へ事前説明し、復元測量自体は原則立会いなしで行う。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0070

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：応用

地積測量図等に基づく復元計算結果が現地状況と明らかに相違した。最も適切な対応はどれか。

- ア．計算値を優先して直ちに復元杭を設置する。
- イ．復元杭を設置せず原因を調査し、計画機関に報告して適切な措置を講ずる。
- ウ．現地状況を無視して資料を破棄する。
- エ．誤差を隠して境界確認へ進む。

答え・解説

正答：イ

- ア：誤った位置を既成事実化するおそれがある。
- イ：資料と現地が相違する場合は復元杭を設置せず、原因調査・報告・措置が必要である。
- ウ：資料を一方的に破棄するのではなく原因究明が必要である。
- エ：不整合を隠すことは品質・法令遵守上不適切である。

総合解説：資料と現地が相違する場合は復元杭を設置せず、原因調査・報告・措置が必要である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0071

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：標準

復元測量後に一筆ごとの境界点を確定する場面で、準則に沿った境界確認の進め方はどれか。

ア：測量作業員だけで境界を決め、権利者には事後通知する。

イ：空中写真だけから境界を推定して確定する。

ウ：復元測量結果や公図等転写図、土地調査表等に基づき、関係権利者立会いの上で境界点を確認し標杭を設置する。

エ：登記記録を確認せず現況地物だけで確定する。

答え・解説

正答：ウ

ア：権利者立会いが重要である。

イ：写真だけで法的・現地境界を確定しない。

ウ：境界確認は関係資料と現地を突き合わせ、関係権利者の立会いの上で行う。

エ：登記・公図等の資料確認を伴う。

総合解説：境界確認は関係資料と現地を突き合わせ、関係権利者の立会いの上で行う。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0072

用地測量 > 資料調査・境界確認・復元 | 難易度：基礎

境界確認が完了したときに作成し、関係権利者全員に署名等を求める書類はどれか。

ア：線形図

イ：水準路線図

ウ：撮影記録簿

エ：土地境界確認書

答え・解説

正答：エ

ア：路線測量の成果である。

イ：水準測量の成果である。

ウ：写真測量の記録である。

エ：境界確認完了時には土地境界確認書を作成し、関係権利者全員に確認したことの署名等を求める。

総合解説：境界確認完了時には土地境界確認書を作成し、関係権利者全員に確認したことの署名等を求める。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0073

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：基礎

関係権利者の立会いで確認済みの境界点について、境界測量で直接求めるものは何か。

ア．現地の境界点を測定し、その座標値を求める作業である。

イ．土地所有者の氏名だけを調査する作業である。

ウ．河川横断面の水深だけを測る作業である。

エ．道路の縦断勾配だけを計算する作業である。

答え・解説

正答：ア

ア：境界測量では確認された境界点を測定し座標化する。

イ：資料調査の一部に近い。

ウ：深浅測量の内容である。

エ：路線縦断計算とは異なる。

総合解説：境界測量では確認された境界点を測定し座標化する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0074

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

見通し障害のある土地で境界点を座標化する。準則に沿った境界測量の基準と方法はどれか。

ア．任意の境界杭1本を原点にして無基準で座標を決める。

イ．近傍の4級基準点以上に基づき放射法等で行い、見通し障害等があれば補助基準点を設置できる。

ウ．仮BMだけから平面座標を決定する。

エ．GNSS単独測位だけに限定する。

答え・解説

正答：イ

ア：基準との接続がない。

イ：境界点は国家座標等へ接続できる基準点に基づき測定するのが標準で、必要に応じ補助基準点を用いる。

ウ：仮BMは高さ基準が中心である。

エ：特定手法だけに限定されない。

総合解説：境界点は国家座標等へ接続できる基準点に基づき測定するのが標準で、必要に応じ補助基準点を用いる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0075

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

用地の境界点をTS等で観測する場面を想定する。水平角・鉛直角・距離測定 of 標準回数の組合せはどれか。

- ア．水平角2対回、鉛直角2対回、距離1回
- イ．水平角1対回、鉛直角観測なし、距離1回
- ウ．水平角0.5対回、鉛直角0.5対回、距離2回測定
- エ．角観測なし、距離4回だけ

答え・解説

正答：ウ

ア：準則の標準組合せと異なる。
イ：鉛直角を一律省略する標準ではない。
ウ：準則の境界測量ではTS等の場合、水平角0.5対回、鉛直角0.5対回、距離2回測定を標準とする。
エ：角観測を行わない標準ではない。
総合解説：準則の境界測量ではTS等の場合、水平角0.5対回、鉛直角0.5対回、距離2回測定を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0076

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

RTK法等で境界点を観測する場合の座標値の採用方法として適切なものはどれか。

- ア．1セット目だけを必ず採用し2セット目は捨てる。
- イ．2セット目だけを採用し平均は取らない。
- ウ．再初期化せず同一解を二重記録して平均する。
- エ．1セット目終了後に再初期化して2セット目を観測し、2セットの平均値を境界点座標とする。

答え・解説

正答：エ

ア：条件点観測等の採用・点検の扱いと混同している。
イ：境界点座標は2セット平均を用いる。
ウ：再初期化を省くと独立した点検にならない。
エ：境界測量では独立性を確保するため再初期化し、2セットの観測値の平均を座標値とする。
総合解説：境界測量では独立性を確保するため再初期化し、2セットの観測値の平均を座標値とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0077

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

境界測量で見通し障害のため補助基準点を設ける。準則の標準条件として適切なものはどれか。

- ア．基準点から辺長100 m以内、節点1点以内の開放多角測量
- イ．基準点から1 km以内、節点10点以内
- ウ．辺長制限なし、節点数制限なし
- エ．基準点から20 m以内で閉合多角に限定

答え・解説

正答：ア

- ア：準則では補助基準点は基準点から辺長100m以内、節点1点以内の開放多角測量を標準とする。
- イ：許容範囲を超える。
- ウ：具体的な標準条件がある。
- エ：閉合多角に限定した規定ではない。

総合解説：準則では補助基準点は基準点から辺長100m以内、節点1点以内の開放多角測量を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0078

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

境界測量の計算結果の標準的な表示単位・位として適切なものはどれか。

- ア．方向角は1度、距離と座標値は1 mの位
- イ．方向角は1秒、距離と座標値は0.001 mの位
- ウ．方向角は0.1秒、距離は1 cm、座標は1 m
- エ．方向角は分、距離と座標は0.1 m

答え・解説

正答：イ

- ア：精度が粗すぎる。
- イ：準則では方向角は秒単位で1秒の位、距離・座標値はm単位で0.001mの位を標準とする。
- ウ：項目間の位が準則と異なる。
- エ：準則の表示位と異なる。

総合解説：準則では方向角は秒単位で1秒の位、距離・座標値はm単位で0.001mの位を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0079

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

境界点間測量の主な目的はどれか。

ア．土地所有者の権利順位を決める。

イ．境界点の標高だけを定める。

ウ．隣接する境界点間の距離を現地測定し、計算距離と比較して精度を確認する。

エ．公図の縮尺を変更する。

答え・解説

正答：ウ

ア：権利順位を測量で決めるものではない。

イ：主目的は距離精度の確認である。

ウ：境界点間測量は境界測量等で得た点間距離の実測と計算値を比較する精度確認である。

エ：公図縮尺変更の工程ではない。

総合解説：境界点間測量は境界測量等で得た点間距離の実測と計算値を比較する精度確認である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0080

用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：応用

境界点間測量で平地の隣接境界点について、座標から計算した辺長 $S=60\text{ m}$ を点検する。実測距離との較差に対する標準許容範囲はどれか。

ア．15 mmであり、辺長に関係なく固定値とする。

イ．60 mmであり、 S の1/1000をそのまま許容値とする。

ウ．120 mmであり、平地基準より大きく設定する。

エ．30 mmであり、平地の境界点間測量の点検基準に従う。

答え・解説

正答：エ

ア： $S/4000$ 相当である。

イ：山地の $S/1000$ 相当である。

ウ： $S/500$ 相当である。

エ：20m以上の平地では $S/2,000$ 。60m/2000=0.03m=30mmである。

総合解説：20m以上の平地では $S/2,000$ 。60m/2000=0.03m=30mmである。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0081 用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：標準

- 用地測量の面積計算について準則に適合するものはどれか。
- ア．境界測量の成果に基づき、原則として座標法で各筆等の取得用地・残地面積を算出する。
 - イ．地図上の目測だけで面積を確定する。
 - ウ．河川流量から土地面積を換算する。
 - エ．写真の画素数だけで法的面積を確定する。

答え・解説 正答：ア

ア：用地面積は境界座標を基礎に座標法で計算するのが原則である。
イ：目測では必要な精度を確保できない。
ウ：流量と面積は無関係である。
エ：画像のみで境界成果に基づく面積計算の代替にはならない。
総合解説：用地面積は境界座標を基礎に座標法で計算するのが原則である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0082 用地測量 > 境界測量・面積計算 | 難易度：応用

- 境界点が(0,0)、(40,0)、(40,30)、(0,30) mの長方形である。座標法で求める面積はいくらか。
- ア．70 m²。辺長40 mと30 mを加算した値である。
 - イ．1,200 m²。40 m×30 mであり、座標法でも同じ面積となる。
 - ウ．600 m²。長方形面積の半分だけを採用した値である。
 - エ．2,400 m²。正しい面積を二重計上した値である。

答え・解説 正答：イ

ア：辺長の和に近く面積ではない。
イ：長方形なので40m×30m=1,200m²で、座標法の靴ひも公式でも同じ結果となる。
ウ：正しい面積の半分である。
エ：正しい面積の2倍である。
総合解説：長方形なので40m×30m=1,200m²で、座標法の靴ひも公式でも同じ結果となる。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0083

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：基礎

用地実測図データファイルの作成について適切なものはどれか。

- ア：河川の流量観測値だけで作成する。
- イ：写真画像の色だけを使って境界を推定し作成する。
- ウ：用地測量の各工程の結果に基づき、境界点の座標値等を用いて作成する。
- エ：境界確認前に任意の境界線を描いて完成させる。

答え・解説

正答：ウ

ア：河川水文データは主要根拠ではない。
イ：境界成果を基礎とする必要がある。
ウ：用地実測図は確定した境界点座標等を基礎に作成する成果である。
エ：工程順序が不適切である。
総合解説：用地実測図は確定した境界点座標等を基礎に作成する成果である。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0084

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

次のうち、用地実測図データの標準的な記載項目に含まれるものはどれか。

- ア：衛星軌道暦だけ
- イ：航空機の姿勢角だけ
- ウ：河川の流速時系列だけ
- エ：境界点の座標値・点名・標杭の種類・境界線、面積計算表等

答え・解説

正答：エ

ア：GNSS測位処理の内部情報であり用地図の標準項目ではない。
イ：航空写真測量の内部データである。
ウ：河川水文観測のデータである。
エ：用地実測図には境界点情報、境界線、面積、地番等の用地管理情報を格納する。
総合解説：用地実測図には境界点情報、境界線、面積、地番等の用地管理情報を格納する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0085

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

用地実測図データの地図情報レベルの標準はどれか。

- ア．地図情報レベル250（用地境界を詳細に表現する大縮尺側の設定）
- イ．地図情報レベル500（中間的な詳細度を用いる設定）
- ウ．地図情報レベル1,000（地形図相当の縮尺側を用いる設定）
- エ．地図情報レベル2,500（さらに小縮尺側の設定）

答え・解説

正答：ア

ア：準則では用地実測図データの地図情報レベルは250を標準とする。
イ：準則の標準値ではない。
ウ：より小縮尺側で標準値と異なる。
エ：標準値と異なる。

総合解説：準則では用地実測図データの地図情報レベルは250を標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0086

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

用地平面図データファイルの作成方法として適切なものはどれか。

- ア．用地実測図の情報を一切使わず、地物も測らない。
- イ．用地実測図の必要項目を抽出し、現地で建物等の主要地物を測定して作成する。
- ウ．河川断面図をそのまま名称変更する。
- エ．登記事項証明書の文字情報だけで平面図を完成させる。

答え・解説

正答：イ

ア：境界と現況地物の情報が必要である。
イ：用地平面図は用地実測図の境界情報等を基礎に、建物・工作物等の主要地物を加えて作成する。
ウ：成果の種類・目的が異なる。
エ：文字情報だけでは必要な平面位置情報を表現できない。
総合解説：用地平面図は用地実測図の境界情報等を基礎に、建物・工作物等の主要地物を加えて作成する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0087

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

用地実測図と用地平面図の関係について適切な説明はどれか。

ア．両者は完全に同一で、記載内容に差はない。

イ．用地実測図には境界情報を含めず、用地平面図だけに境界を記載する。

ウ．用地平面図は用地実測図の境界点等の必要項目を利用しつつ、建物・工作物・道路名等の現況情報を追加する。

エ．用地平面図は面積計算を一切参照できない。

答え・解説

正答：ウ

ア：標準項目に差がある。

イ：用地実測図も境界情報を主要項目として持つ。

ウ：両図は関連するが役割が異なり、平面図は境界情報に主要地物等の現況情報を加える。

エ：境界・用地情報との関連を持つ成果である。

総合解説：両図は関連するが役割が異なり、平面図は境界情報に主要地物等の現況情報を加える。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0088

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

用地実測図・用地平面図データの分類コードについて適切なものはどれか。

ア．各作業者が自由に符号を決め、共有しなくてよい。

イ．河川流量観測のコードを流用する。

ウ．写真ファイル名をそのまま分類コードとする。

エ．付録7の公共測量標準図式の数値地形図データ取得分類基準を標準とする。

答え・解説

正答：エ

ア：相互運用性・一貫性が失われる。

イ：用途が異なるコードである。

ウ：ファイル名と地物分類コードは別概念である。

エ：準則では付録7の公共測量標準図式に基づく分類コードを標準とする。

総合解説：準則では付録7の公共測量標準図式に基づく分類コードを標準とする。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0089

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

用地実測図・用地平面図などを納品成果としてまとめる際、品質評価とメタデータの扱いとして正しいものはどれか。

- ア．品質評価を行い、用地実測図や用地平面図等の対象成果についてメタデータを作成する。
- イ．境界点間測量を行えば品質評価は不要である。
- ウ．紙に出力した場合はメタデータを作成してはならない。
- エ．面積計算書だけ残せば他の成果管理は不要である。

答え・解説

正答：ア

ア：用地測量でも品質評価とメタデータ作成が規定されている。
イ：点検と品質評価は別の管理行為である。
ウ：成果管理のためメタデータを作成する。
エ：用地測量成果は複数種類あり、必要に応じ整理する。
総合解説：用地測量でも品質評価とメタデータ作成が規定されている。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0090

用地測量 > 用地実測図・用地平面図・成果 | 難易度：応用

資料調査から面積計算・用地図作成までを実施した。用地測量の成果として整合する組合せはどれか。

- ア．縦断面図、等深線図、汀線図だけ
- イ．公図等転写図、土地調査表、土地境界確認書、面積計算書、用地実測図データ等
- ウ．線形図、中心杭、仮BMだけ
- エ．点群オリジナルデータ、グリッドデータだけ

答え・解説

正答：イ

ア：河川測量の成果に偏っている。
イ：用地測量では資料調査・境界確認・境界測量・面積計算・用地図作成に応じた成果を整理する。
ウ：路線測量の成果に偏っている。
エ：三次元点群測量の成果に偏っている。
総合解説：用地測量では資料調査・境界確認・境界測量・面積計算・用地図作成に応じた成果を整理する。この論点は、午後の応用測量でも手順・数値基準・成果の理由を説明できるように整理しておくことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0091

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：基礎

施工測量において、設計図書に示された構造物の位置を現地に設定する際の基本的な考え方として最も適切なものはどれか。

- ア．既知の基準点・座標系との関係を確認し、設計座標を現地へ正しく位置付ける。
- イ．施工者が見やすい位置を優先し、既知点との関係は考慮しない。
- ウ．設計座標は施工後の検査だけに用い、施工前の位置出しには使用しない。
- エ．現場内で独自座標を設定すれば、成果の座標系との対応付けは不要である。

答え・解説

正答：ア

ア：施工位置を再現可能にするには、設計座標と現地の基準点・座標系の対応を明確にして位置出しを行う。
イ：既知点との関係を無視すると、設計位置を客観的に再現できない。
ウ：施工前の位置出しこそ設計座標の主要な利用場面の一つである。
エ：独自座標を使う場合でも、成果や設計座標との変換関係を管理する必要がある。
総合解説：施工測量では「どこを測ったか」だけでなく、設計座標系との整合を確保し、後から検証できる状態にすることが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0092

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：基礎

出来形測量の目的として最も適切なものはどれか。

- ア．工事契約前に周辺住民の意向だけを把握する。
- イ．施工された構造物や地形の形状・位置を計測し、設計値や管理基準との適合性を確認する。
- ウ．設計図面を現地測量なしで自動的に完成図へ置き換える。
- エ．施工機械の燃料消費量を測定して工事費を算定する。

答え・解説

正答：イ

ア：住民意向調査は出来形測量の目的ではない。
イ：出来形測量は、施工後または施工段階の実形状を計測し、設計・管理基準に対して評価するために行う。
ウ：完成図作成には実測結果との整合確認が必要で、設計図面の単純置換ではない。
エ：燃料使用量は施工管理情報であり、出来形の幾何形状を測る目的とは異なる。
総合解説：出来形管理では設計値と実測値を比較できる測定体系、座標基準、計測精度をそろえることが前提となる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0093

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：基礎

ICT施工における「起工測量」の位置付けとして最も適切なものはどれか。

ア．完成後の出来形だけを測定し、施工前の地形は対象としない。

イ．工事用車両の運行経路だけを決めるために行う。

ウ．施工前の現況地形を把握し、設計データとの比較や施工数量の検討に用いる。

エ．設計変更の有無にかかわらず、過去の地形図を現況地形として採用する。

答え・解説

正答：ウ

ア：完成後を対象とするのは出来形計測であり、起工測量とは時点が異なる。

イ：運行経路の検討だけに限定されるものではない。

ウ：起工測量は着工前の現況を把握する工程で、3次元設計データや数量管理の基礎となる。

エ：現況は実測で確認すべきで、過去資料を無条件に現況として扱うことは適切でない。

総合解説：起工時の現況データと設計データを同一座標基準で比較できるようにしておくと、施工数量や出来形の評価が一貫する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0094

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：標準

レーザスキャナ等で取得した点群を出来形評価に用いる前処理として最も適切なものはどれか。

ア．取得点を一切確認せず、すべての反射点を設計面との差分計算に使用する。

イ．点群の座標を任意に平行移動し、設計面に最も近くなる位置へ合わせる。

ウ．出来形を良く見せるため、設計値から外れる点だけを除去する。

エ．対象外物体や明らかな異常点を除去し、必要な点密度・座標系に整えたうえで評価用データを作る。

答え・解説

正答：エ

ア：重機・植生・浮遊物等の不要点が混在すると評価を歪めるため、無確認利用は不適切である。

イ：任意の平行移動は実測位置を改変することになり、基準点等に基づく整合とは異なる。

ウ：評価結果に合わせた恣意的除去は品質管理・倫理の両面で不適切である。

エ：出来形評価用データでは、不要点処理、座標整合、必要密度の確保など、客観的な前処理が必要となる。

総合解説：点群処理は「都合の悪い点を消す」作業ではなく、要求仕様に従い評価対象を適切に抽出する品質管理工程である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0095

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：標準

3次元出来形管理で、実測点群と3次元設計データを同一座標系で比較する主な理由はどれか。

- ア．各位置における設計面からの偏差を客観的に評価できるから。
- イ．点群の色を設計図と同じ色に変換できるから。
- ウ．GNSS衛星の軌道誤差を完全に消去できるから。
- エ．施工時刻を設計データから自動的に復元できるから。

答え・解説

正答：ア

ア：座標系を統一すれば、実測形状と設計形状の位置対応を保ったまま偏差を算出できる。
イ：色情報の一致は幾何学的な出来形評価とは直接関係しない。
ウ：座標系を合わせても衛星軌道等の観測誤差が自動的に消えるわけではない。
エ：設計データだけから各点の施工時刻を復元することはできない。
総合解説：3次元出来形管理の核心は、同じ基準で表した設計形状と実測形状を比較し、位置・標高等の差を定量化することである。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0096

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：標準

3次元計測による出来形管理で「測定精度」と「計測密度」を区別する説明として最も適切なものはどれか。

- ア．測定精度と計測密度は同じ概念で、どちらか一方を確認すればよい。
- イ．測定精度は点の位置の確からしさ、計測密度は一定範囲に得られる点の多さに関する指標である。
- ウ．計測密度が高ければ、系統誤差が存在しても測定精度は必ず高くなる。
- エ．測定精度は点の色、計測密度は反射強度だけを表す。

答え・解説

正答：イ

ア：同一概念ではなく、密度が十分でも位置がずれていれば出来形評価には適さない。
イ：精度と密度は別の品質特性であり、要求仕様に応じて双方を確認する必要がある。
ウ：系統誤差は点数を増やしても除去されないことがあり、密度の高さだけでは精度を保証しない。
エ：色や反射強度は属性情報であり、ここでいう精度・密度の定義とは異なる。
総合解説：高密度でも誤った位置に点が集まれば正しい出来形とはいえない。精度と密度を独立に管理する視点が重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0097

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：標準

施工途中と完成時の出来形を比較する計画である。時系列比較の信頼性を高める方法として最も適切なものはどれか。

- ア．各時点で最も見栄えのよい独自座標へ変換し、基準点情報は保存しない。
- イ．完成時データだけ高精度で測れば、施工途中データの精度や基準は問わない。
- ウ．同一の基準座標系・基準点体系を用い、機器点検や観測条件を記録して各時点の成果を比較可能にする。
- エ．比較を容易にするため、両時点の点群を目視で一致するまで移動させる。

答え・解説

正答：ウ

ア：独自座標の関係を残さなければ、差が実変化か座標差か判別できない。
イ：一方だけ高精度でも、比較対象側の不確かさが大きければ差分評価の信頼性は上がらない。
ウ：時系列差を実変化として評価するには、座標基準と計測品質をそろえ、条件を追跡できるよう記録する。
エ：目視合わせは恣意性が入りやすく、客観的な基準点整合の代替にならない。
総合解説：出来形の時系列管理では、各時点の観測を「同じものさし」で比較できるようにすることが最優先である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0098

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：標準

従来の代表断面による管理と比べた、点群による面的出来形管理の説明として最も適切なものはどれか。

- ア．面的に測れば死角は必ずなくなるため、観測計画や補測は不要になる。
- イ．点数が多いほど基準点誤差が自動的に相殺されるため、標定確認は不要になる。
- ウ．面管理を行う場合は設計データが不要となり、実測点群だけで合否を決められる。
- エ．広い範囲の形状を高密度に把握しやすいが、遮蔽や不要点、精度確認への対処は依然必要である。

答え・解説

正答：エ

ア：地形・構造物による遮蔽はセンサ配置によって生じるため、面計測でも計画が必要である。
イ：基準の系統的ずれは点数の増加では解消しない。
ウ：出来形評価には比較対象となる設計形状・管理基準が必要である。
エ：点群は面的把握に強い一方、遮蔽、反射、不要点、標定誤差などの品質要因を管理する必要がある。
総合解説：点群の利点は「多く測れる」ことだが、そのデータが正しい基準で取得・処理されていることを確認して初めて有効になる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0099

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：応用

施工中、位置出しに使用してきた基準点について、既知点との点検で許容できない差が見つかった。最も適切な対応はどれか。

- ア．その基準点の使用をいったん止め、原因と影響範囲を確認してから必要な再測・再設定を行う。
- イ．工程を優先してそのまま使い続け、完成後にまとめて補正する。
- ウ．差が一定方向なら設計座標側を無条件に変更して基準点へ合わせる。
- エ．問題の基準点だけ記録から削除し、既施工部分への影響確認は行わない。

答え・解説

正答：ア

ア：異常を検知した基準点を継続使用すると誤りが拡大するため、使用停止・原因確認・影響評価・必要な再測が基本となる。
イ：後補正できない施工位置への影響があり得るため、異常を承知して使用継続するのは不適切である。
ウ：原因を確かめず設計値を変更することはできない。
エ：既施工部分がその基準点に依存していれば影響確認が必要で、記録削除は追跡性も損なう。
総合解説：測量の品質管理では、不適合を隠すのではなく、作業を止めて原因・影響範囲・是正内容を記録することが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0100

その他の応用測量 > 工事・施工・出来形測量 | 難易度：応用

3次元出来形データを後工程の検査や維持管理でも利用できるようにする措置として最も適切なものはどれか。

- ア．最終画像だけ保存し、元の点群や座標基準は廃棄する。
- イ．座標系、計測方法、機器・精度確認、処理内容、データ版を成果と関連付けて保存する。
- ウ．ファイル名を毎回同じにして上書きし、版管理を行わない。
- エ．処理条件は担当者の記憶で管理し、記録には残さない。

答え・解説

正答：イ

ア：画像だけでは再解析や座標精度の確認が困難になる。
イ：後から成果の妥当性を確認するには、データ本体と品質・処理履歴を結び付けて追跡可能にしておく必要がある。
ウ：上書きだけでは変更履歴が追えず、どの成果を検査に用いたか不明確になる。
エ：担当者の記憶に依存する運用は再現性がなく、品質保証にならない。
総合解説：3次元成果はファイル容量だけでなく、座標基準と品質情報を含む「再利用可能な成果」として管理する必要がある。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0101

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：基礎

構造物の長期変位を測定するとき、基準点に求められる条件として最も適切なものはどれか。

- ア．対象構造物の最も変形しやすい箇所に基準点を置くこと。
- イ．毎回異なる場所に基準点を設け、平均すればよいこと。
- ウ．観測対象の変位の影響を受けにくい安定した場所に設け、長期的な健全性を点検できること。
- エ．観測対象と一緒に移動する基準点を用いること。

答え・解説

正答：ウ

ア：変形部に基準点を置くと、対象と一緒に動いて変位を正しく把握できない。
イ：基準が毎回変わると時系列比較の連続性が失われる。
ウ：変位は安定した基準に対する相対変化として捉えるため、基準点自身の安定性確認が重要である。
エ：対象と一緒に動く基準では実変位を分離できない。
総合解説：長期モニタリングでは「対象が動いたのか、基準が動いたのか」を区別できる配置と点検が必要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0102

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：基礎

同一の水準点について初回標高が12.480 m、次回標高が12.462 mであった。基準点が安定しているとき、対象点の鉛直変化の説明として適切なものはどれか。

- ア．18 mm隆起したと評価する。
- イ．42 mm沈下したと評価する。
- ウ．標高差だけでは上下方向の変化は判断できない。
- エ．18 mm沈下したと評価する。

答え・解説

正答：エ

ア：隆起なら後の標高が高くなる必要がある。
イ：42 mmという差は両標高から得られない。
ウ：安定した同一基準に対する標高差なので上下方向の変化を評価できる。
エ：12.462 - 12.480=-0.018 mであり、標高が18 mm低下しているため沈下と評価する。
総合解説：沈下量は時系列の標高差として求めるが、基準点の安定性と観測精度が変位量より十分良いことが前提である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0103

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：標準

数mm程度の変位を検出したいモニタリング計画で最も重要な考え方はどれか。

- ア．期待する変位量より十分小さい不確かさとなる観測方法・機器・基準を選ぶ。
- イ．変位量より大きな測定誤差でも、観測回数を1回にすれば問題ない。
- ウ．高価な機器を選べば、基準点配置や観測条件は考えなくてよい。
- エ．成果を整数メートルで丸めれば、微小変位を安定して検出できる。

答え・解説

正答：ア

ア：検出したい変化より測定の不確かさが大きいと、観測差が実変位か誤差か判断できない。
イ：観測回数を減らしても大きな誤差が解消されるわけではない。
ウ：機器性能だけでなく、基準点、観測方法、環境条件も精度を左右する。
エ：粗い丸めは微小変位情報を失わせる。
総合解説：モニタリングでは「測れるか」ではなく「その変位量を有意に識別できるか」を基準に精度設計する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0104

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：標準

長期の変位観測で、可能な範囲で観測時刻・機器設定・視準条件などをそろえる理由として最も適切なものはどれか。

- ア．毎回同じ条件なら基準点の点検が不要になるため。
- イ．環境や観測条件の違いによる系統的な影響を抑え、時系列差を実変位として解釈しやすくするため。
- ウ．条件をそろえると観測値からランダム誤差が完全に消えるため。
- エ．同一条件にすれば、異なる座標系の成果を変換せず比較できるため。

答え・解説

正答：イ

ア：条件をそろえても基準点そのものが変動する可能性はあるため点検は必要である。
イ：温度、視準距離、機器設定等の違いが時系列差へ入り込むのを抑えることが目的である。
ウ：偶然誤差は完全には消えないため、繰返し観測や統計評価も必要である。
エ：座標系が異なれば適切な変換・整合が必要で、観測条件の統一では代替できない。
総合解説：微小変位の検出では、実変化以外の変化要因を減らす観測設計が結果の信頼性に直結する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0105

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：標準

定期変位観測で1点だけ過去傾向から大きく外れた値が得られた。最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- ア．異常値は必ず構造物の急激な変位とみなし、確認せず公表する。
- イ．過去傾向に合うよう数値を書き換える。
- ウ．機器・標識・基準点・観測記録を確認し、必要に応じ再観測して実変位か観測異常かを切り分ける。
- エ．1点だけなので自動的に削除し、削除理由は記録しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：確認なしの断定は安全判断を誤るおそれがある。
イ：実測値の恣意的改変は品質・倫理上許されない。
ウ：異常な変化は重要な兆候でも観測異常でもあり得るため、原因確認と再観測で切り分ける。
エ：除外する場合も合理的根拠と処理履歴を残す必要がある。
総合解説：維持管理測量では、異常値を「消す」のでも「即断する」のでもなく、検証して判断根拠を残すことが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0106

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：標準

構造物や盛土の表面変位を測量で継続観測する利点として最も適切なものはどれか。

- ア．内部応力や間隙水圧を測量だけで直接測定できる。
- イ．観測基準の安定性を確認しなくても絶対変位を保証できる。
- ウ．測点を毎回変えても同一点の変位履歴を得られる。
- エ．同一測点の位置を時系列で比較し、外部から確認できる全体的な変形傾向を把握できる。

答え・解説

正答：エ

ア：応力や間隙水圧は専用計器による計測対象で、通常の測量で直接得る量ではない。
イ：基準点が動けば見かけの変位が生じるため安定性確認が必要である。
ウ：同一対象の履歴には測点の同一性・対応関係が必要である。
エ：表面測点を継続して測れば、沈下・水平移動などの巨視的な変形を時系列で把握できる。
総合解説：表面変位測量は維持管理で有力だが、内部状態を直接測る計測とは役割が異なるため、目的に応じて組み合わせる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0107

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：応用

GNSSを用いた長期変位観測を計画する際の判断として最も適切なものはどれか。

- ア．衛星視通やマルチパス環境、基準点の安定性を評価し、要求精度に合う観測方式を選ぶ。
- イ．GNSSを使えば上空障害の有無に関係なく常に同じ精度が得られる。
- ウ．変位量が微小でも単独測位の瞬時値だけを比較すれば十分である。
- エ．GNSSでは高さ成分を得られないため、沈下観測には一切使用できない。

答え・解説

正答：ア

ア：GNSSの品質は衛星配置、遮蔽、マルチパス、観測方式等に影響されるため、対象変位に応じた設計が必要である。
イ：上空障害は可視衛星数やマルチパスに影響し、精度が一定とは限らない。
ウ：微小変位では単独測位の瞬時値では不確かさが大きく、適切な高精度方式が必要である。
エ：GNSSは三次元座標を得られるため、高さ変化の監視にも利用される。
総合解説：変位監視にGNSSを採用するかは「GNSSだから高精度」ではなく、環境・方式・要求精度を照合して決める。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0108

その他の応用測量 > 変位・沈下・維持管理測量 | 難易度：応用

施工中の変位モニタリングで管理値を超える変化を検出した。最も適切な管理上の対応はどれか。

- ア．測量担当者だけで値を平均化し、管理値以下になるまで再計算する。
- イ．測定の妥当性を迅速に確認しつつ、事前に定めた連絡・施工判断の手順に従って関係者へ報告し、必要な措置をとる。
- ウ．工期への影響を避けるため、次回定期観測まで報告しない。
- エ．管理値は参考値なので、超過しても観測記録を残さなくてよい。

答え・解説

正答：イ

ア：平均化で閾値超過を隠すことは実態を歪める。
イ：管理値超過は安全・施工判断に関係するため、計測確認と同時に定められた報告・対応フローへ接続する。
ウ：重大な変化の報告遅延は適切な措置を妨げる。
エ：管理値と観測記録は判断根拠として保存すべきである。
総合解説：モニタリングは測るだけで完了せず、異常を誰がどう判断し、施工や維持管理へ反映するかまで設計して初めて機能する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0109

その他の応用測量 > 三次元点群を用いた断面・数量 | 難易度：基礎

現行の作業規程の準則で、三次元点群データから断面図を作成する際の考え方として最も適切なものはどれか。

ア．点群から断面図を作る場合は、必ずすべての点を単純平均して標高を求める。

イ．三次元点群を使う断面図では補備測量を行ってはならない。

ウ．測線への標高付与には、地形形状・使用目的・点密度を考慮して最近隣法又はTIN法を用いることを標準とする。

エ．点密度に関係なく、任意の補間法を無検証で使用できる。

答え・解説

正答：ウ

ア：単純平均では地形の傾斜変換や局所形状を適切に表せない場合がある。

イ：欠測や必要な傾斜変換点不足があれば補備測量で補完する。

ウ：令和7年改正では、点群から測線へ標高を付与する方法として、条件を考慮した最近隣法又はTIN法が標準として整理された。

エ：使用目的と点密度に応じた方法選択が必要で、任意の無検証手法ではない。

総合解説：点群断面化では、補間アルゴリズムだけでなく、点密度、欠測、地形の傾斜変換点を確認することが品質確保の要点である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0110

その他の応用測量 > 三次元点群を用いた断面・数量 | 難易度：基礎

点群から横断面を作成しようとしたところ、急斜面の一部が遮蔽され点群が欠測していた。最も適切な対応はどれか。

ア．周辺点を無制限に外挿し、現地確認なしで断面を完成させる。

イ．欠測部を水平面と仮定し、必ず同じ標高で補完する。

ウ．欠測がある断面はすべて削除し、測線自体をなかったことにする。

エ．必要な断面形状を確保するため、欠測部や不足する傾斜変換点を補備測量で補う。

答え・解説

正答：エ

ア：外挿範囲が大きいくほど実地形と乖離するリスクが高まり、無検証補完は不適切である。

イ：地形を水平と仮定する根拠がなく、急斜面では特に誤差が大きくなる。

ウ：必要な断面を消すのではなく、要求成果を満たすよう再取得・補備する。

エ：現行準則では、欠測箇所や必要な傾斜変換点が不足する場合などは補備測量によって補完する考え方が示されている。

総合解説：三次元計測でも死角は生じるため、欠測を識別し、成果目的に応じて補備測量へつなげる判断が必要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0111 その他の応用測量 > 三次元点群を用いた断面・数量 | 難易度：標準

- TINを用いて点群から地形面を構成する説明として最も適切なものはどれか。
- ア．不規則に分布する点を三角形網で結び、三角形内を面として表現することで地形の連続面を構成する。
 - イ．すべての点を同じ標高にそろえて水平面を作る方法である。
 - ウ．点群の色情報だけから体積を直接求める方法である。
 - エ．座標系を持たない画像ピクセルを三角形に分割するだけの方法である。

答え・解説 正答：ア

- ア：TINは不規則三角網であり、地形点を三角形面として連結して連続的な地表面を表現する。
イ：標高を同一化すると地形起伏が失われる。
ウ：色情報は形状の三次元座標そのものではなく、体積算定には幾何モデルが必要である。
エ：測量用途のTINは座標をもつ点に基づく地形モデルである。
総合解説：TINは断面抽出や面間体積計算の基礎となるため、入力点の品質と不適切な三角形形成の有無も確認する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0112 その他の応用測量 > 三次元点群を用いた断面・数量 | 難易度：標準

- 盛土前後の三次元点群から施工土量を求める方法として最も適切なものはどれか。
- ア．施工前点群の点数から施工後点群の点数を引けば、その差が体積となる。
 - イ．同一座標系に整合した施工前後の地形面を作成し、対応する面間の体積差を算定する。
 - ウ．両時点の平均標高だけを比較すれば、地形面積に関係なく体積が決まる。
 - エ．施工後点群を設計面へ平行移動して一致させ、その移動量を体積とする。

答え・解説 正答：イ

- ア：点数は計測密度に左右されるため、点数差は体積を表さない。
イ：体積は面と面の間の空間量なので、同一基準で表した前後地形面の差分を積分・モデル化して求める。
ウ：平均標高差だけでは面積分布を考慮できない。
エ：座標を恣意的に動かすと実際の施工量を失う。
総合解説：点群土量計算では座標基準、対象範囲、地表面生成、欠測・不要点処理をそろえることで前後差が意味を持つ。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0113 その他の応用測量 > 三次元点群を用いた断面・数量 | 難易度：標準

細かな地形変化を含む断面を点群から作成する場合、点密度が不足すると生じやすい問題はどれか。
ア．点密度が低いほど必ず位置精度が高くなる。
イ．点密度が不足すると座標系が自動的に別の測地系へ変わる。
ウ．小さな傾斜変換や局所的な凹凸を十分に表現できず、断面形状を平滑化しすぎるおそれがある。
エ．点密度は断面形状と無関係で、ファイル容量だけに影響する。

答え・解説 正答：ウ

ア：密度と位置精度は別の品質特性で、低密度だから高精度になる関係はない。
イ：座標系はメタデータや変換で管理され、点密度で変わらない。
ウ：点が粗いと地形特徴をサンプリングできず、補間結果が実地形の細部を落とす可能性がある。
エ：密度は表現可能な地形細部や補間品質に直接影響する。
総合解説：断面図の要求精度だけでなく、対象地形の複雑さに応じた点密度を確保することが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0114 その他の応用測量 > 三次元点群を用いた断面・数量 | 難易度：応用

点群から算出した掘削量が従来の断面法による概算値と大きく異なった。最も適切な確認手順はどれか。
ア．点群の方が新しい技術なので、差の原因を調べず点群結果を常に正しいとする。
イ．従来値に合うまで点群の標高を一定量だけ移動する。
ウ．差が大きい場合は双方の計算記録を破棄して平均値を採用する。
エ．対象範囲、座標・標高基準、不要点処理、地形面生成、欠測部、計算方法を順に確認し、必要なら独立手法で検算する。

答え・解説 正答：エ

ア：新技術であっても品質確認は必要であり、自動的に正しいとは限らない。
イ：結果合わせの座標改変は測量成果の信頼性を損なう。
ウ：根拠のない平均は誤差原因を解決せず、再現性もない。
エ：数量差は範囲設定や基準面、フィルタリング、モデル化方法の違いでも生じるため、工程ごとに検証する。
総合解説：三次元数量計算では、入力からモデル化・範囲設定・算定までのトレーサビリティを確保し、差異を説明できることが実務上重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0115

午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：基礎

令和8年測量士試験の午後必須問題で特に重視される能力として最も適切なものはどれか。

- ア．測量計画を作製・実施する立場として、法規・品質・安全・新技術等を横断して判断する応用能力。
- イ．測量機器の商品名をできるだけ多く暗記する能力。
- ウ．特定メーカーのソフトウェア操作手順だけを再現する能力。
- エ．古い測量技術の歴史年代を詳細に暗記する能力。

答え・解説

正答：ア

ア：公式方針は午後試験で応用能力等を問い、公共測量の計画・実施に必要な法令・準則・実務を重視している。
イ：商品名の暗記は測量計画を作製する専門能力の中心ではない。
ウ：特定機関・特定製品だけの知識は公式方針の対象から外れる。
エ：現場で活用されなくなった技術を中心に問わない方針が示されている。
総合解説：午後対策では、個別知識を文章で説明するだけでなく、計画変更・安全・情報管理などの事例で妥当な行動を選べることが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0116

午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：基礎

- 公共測量の実施中、当初計画では対応できない条件が判明し、作業方法を変更する必要が生じた。最も適切な対応はどれか。
- ア．現場責任者が合理的と考えれば、記録を残さず自由に変更してよい。
 - イ．変更内容と理由を整理し、測量計画機関との必要な協議・承認等を経て、変更した計画に従って作業する。
 - ウ．成果完成後に変更内容だけ報告すれば、実施前の手続は不要である。
 - エ．計画変更を避けるため、適用できない旧方法をそのまま継続する。

答え・解説

正答：イ

ア：無記録の独断変更では計画機関が品質や法令適合性を確認できない。
イ：計画の変更は品質・契約・公共測量手続に関わるため、関係者と正式に調整し、変更を記録して実施する。
ウ：事後報告だけでは変更前の妥当性確認ができない。
エ：条件に不適合な方法を無理に続けることも品質確保に反する。
総合解説：令和8年午後必須問題でも、作業を変える場合に変更した作業計画を計画機関へ提出し承認を得るという実務判断が問われている。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0117 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：基礎

悪天候で測量工程が遅れている。品質を維持しながら工程を回復する対策として最も適切なものはどれか。

- ア．観測回数や点検を無断で減らし、検査基準を満たさなくても納期を優先する。
- イ．未観測箇所を推定値で埋め、現地作業を省略する。
- ウ．必要な作業員や班編成を見直し、品質・安全を確保したうえで並行作業等の実行可能な工程変更を検討する。
- エ．遅延理由を記録せず、成果日付だけ予定日に合わせる。

答え・解説 正答：ウ

- ア：必要な観測・点検を削ると成果品質を担保できない。
 - イ：未観測値の無根拠補完は測量成果の信頼性を失う。
 - ウ：工程回復は人員・班編成・順序などを合理的に見直し、要求品質と安全を維持して行う。
 - エ：日付改変は事実と記録を不一致にする。
- 総合解説：工程管理の正解は「速くすること」だけではなく、品質・安全・手続を守った実行可能な再計画を行うことである。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0118 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：基礎

2025年6月施行の改正労働安全衛生規則を踏まえ、一定の高温環境下で測量作業を行う事業者に求められる対応として最も適切なものはどれか。

- ア．熱中症対策は本人の自己管理だけに任せ、事業者は連絡体制を定めない。
- イ．症状が現れた後に初めて緊急搬送先を探せばよく、事前手順は不要である。
- ウ．気温が高い日は水分を用意すれば、報告体制や手順の周知は不要である。
- エ．熱中症のおそれを報告する体制と重篤化防止の手順をあらかじめ整備し、関係作業者に周知する。

答え・解説 正答：エ

- ア：個人任せでは早期発見・迅速対応の仕組みが確保できない。
 - イ：搬送先・連絡網・離脱や冷却等の手順は事前に定めることが重要である。
 - ウ：水分確保は重要だが、法令上の体制・手順整備を代替しない。
 - エ：現行規則では対象作業について報告体制の整備、必要な措置の手順作成、関係者への周知が求められる。
- 総合解説：令和8年測量士午後必須問題でも熱中症の報告体制と周知が扱われており、測量現場の安全管理は現行法令と結び付けて理解する必要がある。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0119 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

公共測量の成果データを扱う端末の運用として最も不適切なものはどれか。
ア．組織のセキュリティ対策が施されていない私物端末へ成果データを無断コピーして作業する。
イ．アクセス権限を必要な担当者に限定し、認証を用いて管理する。
ウ．バックアップと版管理を行い、誤消去や改変から復旧できるようにする。
エ．外部提供や持出しについて定められた手順を確認する。

答え・解説 正答：ア

ア：未管理の端末への無断コピーは、漏えい・マルウェア感染・紛失等のリスクを高めるため不適切である。
イ：最小限の権限管理は不正アクセスや誤操作の抑制に有効である。
ウ：バックアップと版管理はデータの完全性・可用性の確保に役立つ。
エ：情報の持出し・提供は定められたルールに従う必要がある。
総合解説：測量成果は重要な地理空間情報であり、測量技術者には精度だけでなく情報の機密性・完全性を守る実務判断が求められる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0120 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

測量成果を保存した端末から情報流出の可能性が判明した。初動として最も適切なものはどれか。
ア．外部に知られないよう記録を削除し、担当者内だけで処理する。
イ．被害拡大を防ぐ措置をとり、事実関係を保全しつつ、定められた連絡系統に従って発注者等へ速やかに報告する。
ウ．原因が確定するまで数週間待ち、その間は報告しない。
エ．流出した可能性のあるファイル名だけ変更し、同じ端末を通常どおり使い続ける。

答え・解説 正答：イ

ア：記録削除は原因調査を妨げ、隠蔽にもつながる。
イ：情報事故は迅速な封じ込めと報告が重要で、証跡を保全しながら関係者の指示につなげる。
ウ：確定を待って報告を遅らせると被害拡大や対応遅延につながる。
エ：名称変更では漏えい経路や端末の安全性は改善しない。
総合解説：令和8年午後必須問題の公式解答例でも、情報流出事故を速やかに発注者へ届け出る判断が示されている。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0121 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

公共測量における品質評価と成果検定の関係について最も適切な説明はどれか。

ア．品質評価を行えば成果検定の対象であっても必ず検定を省略できる。

イ．成果検定は作業計画の代わりに実施するものである。

ウ．品質評価は要求品質への適合を作業側で確認する工程であり、成果検定は定められた対象について第三者的な確認を行う仕組みとして区別して考える。

エ．品質評価では精度以外の完全性や論理一貫性を扱ってはならない。

答え・解説 正答：ウ

ア：検定の要否は規定や計画に従うため、品質評価だけを理由に一律省略できない。

イ：成果検定は作業計画そのものを代替しない。

ウ：品質評価と成果検定は役割が異なり、作業工程内の品質確認と制度上の検定を混同しないことが重要である。

エ：地理空間データの品質には位置精度だけでなく完全性・論理一貫性等も含まれる。

総合解説：午後記述では用語を単独暗記するより、誰がどの段階で何を保証する手続きを整理すると説明しやすい。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0122 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

精度管理表の作成時に、基準を超える観測結果が見つかった。最も適切な対応はどれか。

ア．管理表だけ基準内の数値へ書き換える。

イ．平均値が基準内なら、個別の異常を無条件で削除する。

ウ．納期直前なら基準超過を注記せず成果として提出する。

エ．原因を調査し、必要な再観測・再計算等を行い、是正内容と再確認結果を記録する。

答え・解説 正答：エ

ア：数値改変は事実を隠し、測量成果の信頼性を失う。

イ：異常値除外には技術的根拠が必要で、平均だけでは判断できない。

ウ：基準超過を隠して提出することは品質・倫理上不適切である。

エ：不適合は原因を特定して是正し、適合を再確認するのが品質管理の基本である。

総合解説：精度管理表は「合格に見せる書類」ではなく、成果が要求品質を満たすことを説明する証拠である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0123 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

作業規程に具体的な方法が定められていない新しい測量技術を公共測量に利用したい。最も適切な考え方はどれか。

- ア．要求精度や適用条件を検証し、法令・作業規程の手続に従って計画機関と調整し、必要な承認等を得て適用する。
- イ．新技術なら従来より必ず高精度なので、精度検証なしに自由に使用できる。
- ウ．メーカー資料に利用可能と書かれていれば、公共測量の手続は不要である。
- エ．作業規程に未記載の技術は、どのような手続をとっても公共測量では使用できない。

答え・解説 正答：ア

ア：新技術は目的・精度・品質を実証し、公共測量の制度的手続を踏んで導入することが基本である。
イ：新しさと精度は同義ではなく、使用条件を含む検証が必要である。
ウ：民間資料だけで法的・技術的要件を満たすとは限らない。
エ：準則未記載でも適切な手続・検証により採用可能な場合がある。
総合解説：令和8年の問題作成方針は「定着しつつある新技術」を対象としており、技術選定だけでなく計画者としての適用判断が重要になる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0124 午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

既存の測量成果を新しい公共測量に利用しようとする場合の確認として最も適切なものはどれか。

- ア．利用申請が通れば、古い成果でも技術的適否を確認する必要はない。
- イ．必要な利用手続だけでなく、成果の基準・精度・現況適合性が今回の測量に適するかも確認する。
- ウ．技術的に高精度なら、法令上必要な利用手続を省略してよい。
- エ．成果の作成年は新しいほどよいので、基準や精度は確認しなくてよい。

答え・解説 正答：イ

ア：手続と技術的妥当性は別の確認事項である。
イ：既存成果の利用には制度上の適法性と、測量の正確さを確保できる技術的適切性の双方が必要である。
ウ：高精度であっても必要な法的手続を省略できない。
エ：新しさだけで座標基準・精度・変動の影響を判断できない。
総合解説：令和8年午後必須の公式解答例でも、申請手続の適法性と測量の正確さを確保するうえでの成果利用の適切性が別々に問われている。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0125

午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：標準

発注者から「わずかな基準超過なので、成果表では基準内に直してほしい」と依頼された。測量技術者の対応として最も適切なものはどれか。

- ア．発注者の指示なので、証拠が残らないよう元データも含めて修正する。
- イ．成果表だけ修正し、元データは正しい値を残せば問題ない。
- ウ．改変には応じず、実測結果と基準超過の事実を説明し、必要な再測・是正方法を提案する。
- エ．超過幅が小さい場合は技術者個人の判断で事実を変更できる。

答え・解説

正答：ウ

ア：指示の有無にかかわらず虚偽の成果作成は許されない。
イ：成果表と元データの不一致も成果の完全性を損なう。
ウ：測量成果の正確性と公共性を守るため、事実に反する改変を拒否し、正規の是正手続を提案する。
エ：許容基準は個人の都合で変更するものではない。
総合解説：倫理問題では「依頼者の利益」と「測量成果の正確性・公共性」が衝突したとき、客観的事実と規定を優先する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0126

午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：応用

交通量の多い道路上で予定時刻までに観測を終えるには、安全施設を一部省略しなければならない状況となった。最も適切な対応はどれか。

- ア．短時間なら安全施設を省略し、作業員の注意だけで対応する。
- イ．工程遅延を避けるため、観測員を車道中央に長時間配置する。
- ウ．事故が起きなければ問題ないため、危険性の記録は不要である。
- エ．安全を確保できる作業方法・時間帯・交通規制等へ計画を見直し、必要な調整を行う。

答え・解説

正答：エ

ア：個人の注意だけでは交通事故リスクを十分管理できない。
イ：危険な配置を長時間続けることはリスクを増大させる。
ウ：リスク評価や変更理由は安全管理・説明責任のため記録すべきである。
エ：工程より安全確保を優先し、危険源を低減できる作業計画へ変更する必要がある。
総合解説：午後実務問題では「予定どおりやる」よりも、安全・品質・法令を満たすよう計画を修正する判断が重視される。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0127

午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：応用

内部照査で成果の座標系表記に不整合が見つかった。最終成果提出前の対応として最も適切なものはどれか。

- ア．該当データだけでなく関連成果・変換条件・計算書への影響を確認し、一貫性を保つよう是正して再照査する。
- イ．表紙の座標系名だけ変更し、数値座標や関連ファイルは確認しない。
- ウ．照査指摘を削除し、成果の内容は変更しない。
- エ．納期が近いので、提出後に問題が出た場合だけ修正する。

答え・解説

正答：ア

ア：座標系不整合は複数成果に影響し得るため、関連範囲を特定して一貫して是正し、再確認する。
イ：表記だけの問題か数値変換まで関係するかを確認しなければならない。
ウ：指摘を消しても不適合は解消しない。
エ：提出前に把握した不適合は是正して品質を確保すべきである。
総合解説：照査は提出前に不整合を捕捉する品質保証工程であり、指摘から影響範囲をたどる視点が重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0128

午後記述・実務総合 > 必須問題：計画・法規・品質・倫理 | 難易度：応用

午後記述式で「作業計画変更の理由と対応」を問われたとき、得点につながりやすい答案構成として最も適切なものはどれか。

- ア．用語をできるだけ多く列挙し、問いとの関係は説明しない。
- イ．問題となる条件を示し、品質・安全・法令上の理由を明確にしたうえで、具体的な変更内容と必要な手続を簡潔に書く。
- ウ．結論だけ「適切に対応する」と書き、具体策や理由は書かない。
- エ．問題文をそのまま書き写し、自分の判断は記述しない。

答え・解説

正答：イ

ア：用語の羅列だけでは問いに対する判断が示されない。
イ：実務記述では、状況認識→理由→具体対応→手続の順に因果関係を示すと、判断根拠が伝わりやすい。
ウ：抽象語だけでは何をするのか採点者が確認できない。
エ：問題文の再掲は解答にならない。
総合解説：資格ブートキャンプでは4択化しているが、午後対策では正答理由を自分の言葉で短く説明できるところまで学習する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0129

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：基礎

令和8年測量士試験の午後選択問題の受験方法として正しいものはどれか。

ア．4題すべてに解答し、得点の高い2題だけが自動採点される。

イ．基準点測量と応用測量の2題が全受験者必須である。

ウ．基準点測量、地形・写真測量、地図編集、応用測量の4題から2題を選択する。

エ．選択問題は1題だけ選び、必須問題と合わせて受験する。

答え・解説

正答：ウ

ア：3題以上を選ぶ方式ではなく、指定数を守る必要がある。

イ：特定2題が全員必須ではない。

ウ：公式方針では4つの選択問題から任意の2題を選択する。

エ：選択は2題であり1題ではない。

総合解説：午後は得意分野の選択戦略も重要だが、必須問題は全員が解答するため横断的な実務力も必要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0130

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：基礎

基準点測量の新点を選点する際の考え方として最も適切なものはどれか。

ア．観測距離だけを短くすれば、網形や見通しは考えなくてよい。

イ．全新点を一直線上に置けば、どの測量方式でも最も強い網になる。

ウ．工事中に失われやすい位置ほど再設置しやすいので優先する。

エ．観測の見通し、保存・利用のしやすさ、網形、既知点との結合などを考慮して選ぶ。

答え・解説

正答：エ

ア：距離だけで測量網の信頼性は決まらない。

イ：一直線配置は幾何学的に弱くなる場合があり、万能ではない。

ウ：失亡しやすい位置は成果の継続利用に不利である。

エ：基準点は観測可能性だけでなく、網の幾何、保存性、後利用を含めて配置する。

総合解説：令和8年午後選択No.2でも選点条件の適否が問われており、数値基準だけでなく網形上の理由を説明できることが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0131

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：基礎

GNSS基準点測量で観測網の信頼性を点検する方法として適切なものはどれか。

- ア．閉合条件や異なるセッションで重複する基線ベクトルの較差を確認する。
- イ．各基線の観測ファイル名が同じ長さかだけを確認する。
- ウ．衛星数が多ければ閉合差や基線較差の点検は不要とする。
- エ．既知点座標を固定せず毎回変更して閉合差を小さくする。

答え・解説

正答：ア

ア：閉合差や重複基線の較差は、観測の整合性を独立に点検する代表的な手段である。
イ：ファイル名は観測精度を示さない。
ウ：衛星数が十分でも観測・解析異常は起こり得る。
エ：既知点を恣意的に変えるのは点検ではなく基準そのものの改変である。
総合解説：午後問題では、計算結果だけでなく「どの組合せを比較すれば独立点検になるか」という網構造の理解が問われる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0132

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：基礎

TSによる角観測で器械の特定の誤差影響を減らすために正反観測を行う意義として最も適切なものはどれか。

- ア．正反観測を行えば鉛直軸が鉛直線から外れていても、その影響は必ず完全に消える。
- イ．正位と反位で符号や現れ方が変わる器械誤差を平均化し、角度結果への影響を低減できる。
- ウ．正反観測は距離の気象補正だけを行う方法である。
- エ．正反観測では同じ方向を観測しないため、器械誤差の点検には使えない。

答え・解説

正答：イ

ア：鉛直軸誤差など、正反だけでは除去できない影響もある。
イ：水平軸・視準軸等の一部器械誤差は正反観測の組合せで相殺・低減できる。
ウ：距離の気象補正とは目的が異なる。
エ：同一方向を異なる望遠鏡位置で観測することで誤差を評価・低減する。
総合解説：器械誤差は「何をすれば消えるか」だけでなく、各誤差の幾何学的原因と、正反観測で除去できる範囲を整理する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0133

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：標準

高層建物が密集する市街地を空中写真で撮影する際、建物による死角を減らす対策として最も適切なものはどれか。

- ア．隣接写真の重複をゼロにし、各地点を1枚だけに写す。
- イ．建物が高いほど撮影高度を必ず最低まで下げれば死角はなくなる。
- ウ．必要に応じて撮影方向やコース配置を工夫し、対象が複数方向から写るような重複を確保する。
- エ．写真の解像度だけを下げれば、建物の倒れ込みによる遮蔽は消える。

答え・解説

正答：ウ

ア：重複をなくすと立体視や同一点の複数視認ができず、死角対策に逆行する。
イ：低高度化だけでは建物倒れ込みが大きくなる場合もあり、万能ではない。
ウ：複数視点から対象を撮ることで、一方向では隠れる部分を別の画像で補える。
エ：解像度は遮蔽そのものを除去しない。
総合解説：令和8年午後の地形・写真測量でも、都市部の建物倒れ込みによる隠蔽を減らす考え方が問われている。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0134

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：標準

オルソ画像を地図上の位置計測に利用しやすい理由として最も適切なものはどれか。

- ア．写真中心から遠いほど建物の倒れ込みを意図的に大きくしているため。
- イ．すべての地物の高さを同じに変更しているため。
- ウ．画像内の色を地図記号へ自動置換しているため。
- エ．地形起伏や写真の中心投影による位置ずれを補正し、一定の投影関係をもつ画像として作られるため。

答え・解説

正答：エ

ア：倒れ込みを増やすのではなく、平面位置に対応させる幾何補正を行う。
イ：地物高さを改変する処理ではない。
ウ：地図記号への変換はオルソ補正の定義ではない。
エ：オルソ化では外部標定要素と標高モデル等を用い、中心投影による幾何ひずみを補正する。
総合解説：写真測量の午後問題では、中心投影・地形起伏・オルソ補正の関係を図で説明できる理解が重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0135

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：標準

三次元点群を地形測量成果として発注する際、要求仕様として明確にすべき事項の組合せとして最も適切なものはどれか。

- ア．要求する位置精度・点密度・対象範囲・成果形式・点検方法。
- イ．担当者の好みのファイル名とパソコンの壁紙。
- ウ．測量会社の売上高と社員数だけ。
- エ．レーザ機器の外装色と製造国だけ。

答え・解説

正答：ア

ア：点群成果の用途を満たすには、精度・密度・範囲・形式・点検など品質と受渡し条件を具体化する必要がある。
イ：ファイル名ルールは補助的事項で、成果品質の中心要件ではない。
ウ：企業規模だけでは成果品質を定義できない。
エ：外装色や製造国だけでは測量性能を規定できない。
総合解説：令和8年午後の地形・写真測量では、点群の精度・点密度・要求仕様書・点検測量といった実務的な要求定義が問われている。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0136

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：標準

既存の地図資料を新しい基図データの編集資料として利用するか判断する際、最も重要な確認はどれか。

- ア．資料がカラー印刷であれば、作成年や精度は確認しなくてよい。
- イ．作成年・地図情報レベル・位置基準・内容の現況性が今回の基図作成目的に適合するか確認する。
- ウ．資料の縮尺分母が大きいほど常に高精度なので優先する。
- エ．資料が同じ地域名なら、座標系が異なってもそのまま重ねてよい。

答え・解説

正答：イ

ア：印刷色は位置精度や現況性を保証しない。
イ：編集資料は新しさ・精度・基準・内容を総合評価して採否を決める。
ウ：一般に縮尺分母が大きいほど小縮尺であり、必ず高精度という関係ではない。
エ：座標系が異なる場合は適切な変換・整合が必要である。
総合解説：令和8年午後地図編集では、古い資料や地図情報レベルが目的に適さない資料を除外する判断が問われている。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0137

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：標準

日本の平面直角座標系で用いられる投影の性質について適切なものはどれか。

- ア．正積図法なので、どの場所でも面積と距離が同時に完全保存される。
- イ．正距方位図法なので、原点から全方向の距離と方位が完全保存される。
- ウ．回転楕円体に横メルカトル図法を適用した等角投影で、角度を局所的に保つ。
- エ．地球を平面に投影せず、経緯度をそのままメートル単位として扱う。

答え・解説

正答：ウ

ア：等角投影は面積を全面的に保存する正積図法ではない。
イ：正距方位図法ではない。
ウ：平面直角座標系はガウス・クリューゲル（横メルカトル）系の等角投影を採用する。
エ：経緯度の角度座標を投影して平面上のメートル座標にする。
総合解説：地図編集の午後問題では投影法名だけでなく、等角性、縮尺係数、座標原点などの性質を説明できる必要がある。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0138

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：標準

地図編集で図郭に含まれる点を判定するときの基本として最も適切なものはどれか。

- ア．対象点の地名が図葉名と似ているかだけで判断する。
- イ．X座標だけを見てY座標は無視する。
- ウ．図郭の縮尺が同じなら、座標系が異なっても数値を直接比較する。
- エ．図郭境界の座標値と対象点の座標値を同一座標系・同一単位で比較する。

答え・解説

正答：エ

ア：地名は位置の厳密な境界判定にはならない。
イ：二次元位置にはX・Yの両方が必要である。
ウ：異なる座標系の数値は直接比較できず、変換が必要である。
エ：図郭判定は平面上の範囲判定なので、同一座標系のX・Y双方を用いる。
総合解説：午後の地図編集では、図葉範囲や左下隅座標を実際に計算させるため、座標軸と図郭寸法を整理しておく。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0139

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：応用

小縮尺化に伴う地図編集で総描を行う目的として最も適切なものはどれか。

ア．重要な地理的特徴と相互関係を保ちながら、過密な地物を選択・簡略化・移動等して読みやすくする。

イ．全地物を元の大縮尺データと同じ形状・密度で表示する。

ウ．位置関係を考えず、地物をランダムに削除する。

エ．縮尺が小さくなるほど注記をすべて大きくし、地物の上に重ねる。

答え・解説

正答：ア

ア：総描は縮尺に応じた可読性を確保しつつ、地理的意味や重要関係を保つ編集である。

イ：同じ密度で表示すると過密・重複が生じやすい。

ウ：無作為削除では重要情報を失い、地図の意味が損なわれる。

エ：注記は地物との競合を調整して配置する必要がある。

総合解説：地図編集では幾何学的精度だけでなく、縮尺に応じた情報選択と可読性という表現上の品質も評価する。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0140

午後記述・実務総合 > 選択問題：基準点・地形写真・地図編集 | 難易度：応用

午後選択問題で、基準点・地形写真・地図編集のうち得意分野を選ぶ際の準備として最も適切なものはどれか。

ア．用語暗記だけで得意分野を決め、計算や記述は本番まで練習しない。

イ．各分野で計算問題と文章説明問題の両方を過去問形式で解き、制限時間内の得点安定性を比較して選択候補を決める。

ウ．過去問を見ず、試験当日の問題名だけで選択する。

エ．1分野だけしか勉強せず、その分野が難しくても必ず選ぶ。

答え・解説

正答：イ

ア：知識だけでなく計算や説明の処理力が必要である。

イ：午後は計算・図読解・説明が混在するため、実戦形式で得点の再現性を確認するのが合理的である。

ウ：問題の難易度変動に備えるには事前に複数候補を用意した方がよい。

エ：選択肢を1つに固定すると本番の難易度変化に対応しにくい。

総合解説：選択問題は2題選べるため、2～3分野を実戦レベルにしておくと、本番で問題内容を見て合理的に選べる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0141 午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：基礎

応用測量の午後問題で、作業計画を説明する際の基本的な順序として最も適切なものはどれか。

ア．使用機器を先に固定し、その機器でできない目的は無視する。

イ．成果様式だけを決め、観測方法や点検方法は現場で都度決める。

ウ．目的・要求精度を確認し、既存資料と現地条件を調査して、方法・基準点・観測・点検・成果作成を計画する。

エ．既存資料や現地条件を確認せず、前回と同じ計画をそのまま使う。

答え・解説 正答：ウ

ア：機器は目的を達成するための手段であり、目的より先に固定するのは不適切である。

イ：点検を後付けすると品質保証が不十分になりやすい。

ウ：測量計画は目的と要求品質から逆算し、条件を把握して観測・点検・成果まで一貫させる。

エ：現地条件や基準が変われば前回計画が適用できないことがある。

総合解説：午後の応用測量では個別作業の暗記より、「目的→方法→点検→成果」の筋道を説明できることが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0142 午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：基礎

路線の横断面を三次元点群から作成する場合の計画として最も適切なものはどれか。

ア．点群なら補備測量は不要なので、遮蔽の有無を確認しない。

イ．断面位置は取得後に任意に変えればよく、計画段階では測線を考えない。

ウ．点群の色が鮮明なら、座標精度や標高基準は確認しなくてよい。

エ．要求する断面精度と地形条件に応じて点密度・取得方法を定め、欠測や傾斜変換点不足には補備測量を計画する。

答え・解説 正答：エ

ア：遮蔽による欠測は点群計測でも起こる。

イ：成果として必要な測線・断面位置は計画条件として整理すべきである。

ウ：色情報の鮮明さは幾何精度を保証しない。

エ：点群断面でも要求精度、点密度、欠測、測線位置を計画し、必要な補備を組み合わせる。

総合解説：令和7年改正準則で点群から断面図を作る方法が追加され、路線・河川測量で新技術を既存の成果体系へ組み込む判断が重要になった。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0143

午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：基礎

河川の定期横断測量で前回成果と今回成果を比較する主な目的として最も適切なものはどれか。
ア．河床の洗掘・堆積や堤防・高水敷の形状変化を把握し、河道管理に必要な情報を得る。
イ．河川水の化学成分だけを測定する。
ウ．流域人口の増減だけを推定する。
エ．河川名の表記変更だけを確認する。

答え・解説

正答：ア

ア：同一・対応する横断面を継続測量することで、河道断面の地形変化を時系列で把握できる。
イ：水質分析は測量とは異なる調査である。
ウ：人口統計は横断測量の直接目的ではない。
エ：名称確認だけでは河道形状の管理情報にならない。
総合解説：応用測量の価値は単年度の形状だけでなく、同じ基準で継続計測して変化量を判断できることにもある。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0144

午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：標準

用地測量で既存資料から境界点の位置を復元した後の実務として最も適切なものはどれか。
ア．計算上の復元点が得られた時点で、関係者確認なしに法的境界が自動確定する。
イ．復元位置を資料・現地状況と照合し、必要な関係者確認を経て境界の確定作業へ進む。
ウ．古い図面に線があれば、現地標識や他資料は確認しない。
エ．面積が予定値になるよう境界点を移動して確定する。

答え・解説

正答：イ

ア：計算による位置復元だけで境界の法的確認が完了するわけではない。
イ：復元は境界確認のための技術的手段であり、資料・現地・関係者確認を総合して進める。
ウ：単一資料だけでなく複数資料・現地状況を照合する。
エ：予定面積へ合わせるための恣意的移動は不適切である。
総合解説：午後の用地測量では、座標計算だけでなく「復元→確認→測量→図面」の手続の意味を説明できることが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0145

午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：標準

道路の単曲線設置計算を行った後、計算ミスを検出するための確認として最も適切なものはどれか。
ア．計算結果の小数点以下をすべて削除すれば、計算ミスはなくなる。
イ．1つの式で得た値を同じ式に再入力するだけで独立検算とする。
ウ．半径・交角から求めた接線長や曲線長など相互に関係する値を別式・幾何条件で検算し、設計値との整合を確認する。
エ．図面上で見た目が滑らかなら数値検算は不要とする。

答え・解説

正答：ウ

ア：丸めは情報を減らすだけでミスを検出ししない。
イ：同じ式の再計算では同じ誤りを繰り返す可能性がある。
ウ：独立した関係式や幾何条件で結果を照合すると、入力・式・符号の誤りを検出しやすい。
エ：見た目だけでは数値誤差を定量的に確認できない。
総合解説：午後計算問題では正解数値だけでなく、検算可能な式の関係を理解しておくと言算過程のミスを減らせる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0146

午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：標準

路線の中心線座標は合うが、横断面図の標高だけが既存成果と一様にずれている。最初に疑うべき要因として最も適切なものはどれか。
ア．必ず平面座標系のX軸符号だけが逆になっている。
イ．横断面図の線色が異なるため標高値も変わった。
ウ．中心線座標が合っているなら標高の一致ずれは発生し得ない。
エ．使用した標高基準・水準点成果・ジオイドや標高成果の世代など、高さ基準の不整合。

答え・解説

正答：エ

ア：X軸符号が逆なら平面位置にも大きな不整合が生じる。
イ：線色は標高数値を変化させない。
ウ：平面と高さは異なる基準・処理を用いることがあり、高さだけの系統差は起こり得る。
エ：平面位置が整合し高さだけ系統的にずれる場合、高さ基準や成果世代の違いを優先して確認するのが合理的である。
総合解説：総合判断では「どの成分がどうずれたか」から原因候補を絞り、無関係な要因を除外する思考が重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0147

午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：標準

複雑な法面の出来形と、少数の重要構造点の高精度位置を同時に把握したい。最も合理的な測量計画はどれか。

ア．面的形状は点群計測で取得し、重要構造点は要求精度に適したTS等で確認するなど、目的別に手法を組み合わせる。

イ．すべてを必ず1種類の機器だけで測り、他手法との確認は禁止する。

ウ．点群の点数が多ければ、重要点の識別や独立確認は不要とする。

エ．重要点だけ測れば法面全体の出来形は自動的に分かる。

答え・解説

正答：ア

ア：測量方法は目的と要求精度に応じて選び、面的計測と高精度な重要点確認を相互補完させるのが合理的である。

イ：単一手法への固定は、対象特性による長所・短所を補えない。

ウ：高密度点群でも重要点が正確に識別・標定されているとは限らない。

エ：少数点から複雑な面形状全体を十分把握することは難しい。

総合解説：新技術と従来技術を対立させず、成果目的に合わせて組み合わせる設計力が測量士の実務能力となる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0148

午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：標準

豪雨後の河川横断測量を急いで実施するよう依頼されたが、現場は増水して危険である。最も適切な判断はどれか。

ア．納期を優先し、安全基準を下げて通常どおり入水観測する。

イ．安全に実施できる条件を確認し、必要なら時期・方法を変更して発注者と調整し、要求目的を満たす代替手段も検討する。

ウ．現場に行かず、前回断面を今回成果として日付だけ更新する。

エ．危険性を理由に依頼を断るだけで、代替方法や再計画は検討しない。

答え・解説

正答：イ

ア：安全基準を下げることは許されない。

イ：安全確保を前提に、目的を達成する別時期・別方式・遠隔計測等を検討し、計画機関と調整するのが実務的である。

ウ：過去成果を今回の実測として扱うのは不適切である。

エ：実施不能理由を説明しつつ代替案を提案するのが計画者の役割である。

総合解説：午後総合問題では「安全か品質か」ではなく、安全を守りつつ目的を達成する再計画を示す判断が求められる。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0149 午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：応用

同一点を独立に2回観測した結果の差が、事前に定めた点検許容値を超えた。最も適切な対応はどれか。

ア．2つの値を単純平均すれば、許容値超過は自動的に解消したとみなす。

イ．大きい方の値だけを正しいとして採用する。

ウ．観測条件・機器・点名・入力値等を点検し、原因を特定できなければ必要な再観測を行って適合性を確認する。

エ．許容値は目安なので、超えても点検記録には合格と記載する。

答え・解説 正答：ウ

ア：平均値を作っても元観測間の不整合という事実は消えない。

イ：大小だけで真値を判断する根拠はない。

ウ：点検差が基準を超えた場合は、誤りの有無を調べ、必要な再測で品質を再確認する。

エ：基準超過を合格扱いにするのは品質管理上不適切である。

総合解説：測量士は数値を出すだけでなく、その数値が点検基準を満たすか判定し、満たさない場合の処置を決める責任がある。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01

0150 午後記述・実務総合 > 選択問題：応用測量・総合判断 | 難易度：応用

発注者から「この成果の精度が保証されている理由を説明してほしい」と求められた。最も適切な説明の組合せはどれか。

ア．「経験豊富な担当者が測ったから」とだけ説明する。

イ．成果ファイルの容量が大きいことを精度保証の根拠とする。

ウ．正答らしい数値だけ抜き出し、観測記録や点検結果は示さない。

エ．採用基準、機器・観測方法、点検・精度管理結果、品質評価、必要な検定や照査の記録を関連付けて示す。

答え・解説 正答：エ

ア：経験は有用でも、成果が要求精度を満たす客観的証拠にはならない。

イ：ファイル容量と測量精度には直接の保証関係がない。

ウ：最終数値だけでは、どのように品質を確保したか検証できない。

エ：品質保証は、要求基準と実施記録・点検結果の客観的証拠をつないで説明する。

総合解説：午後記述で高得点を取るには、結果だけでなく「なぜ信頼できるか」を品質管理プロセスで説明できることが重要である。

対象：令和8年（2026年）測量士試験 / 基準日 2026-01-01